

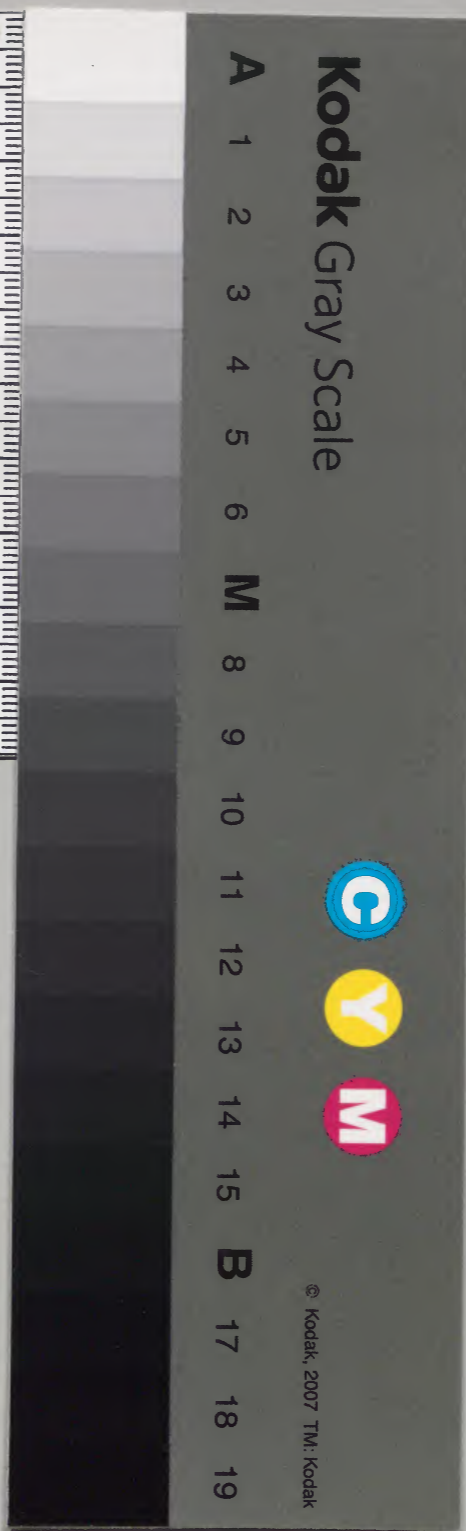
孟子鈔 滕文公下

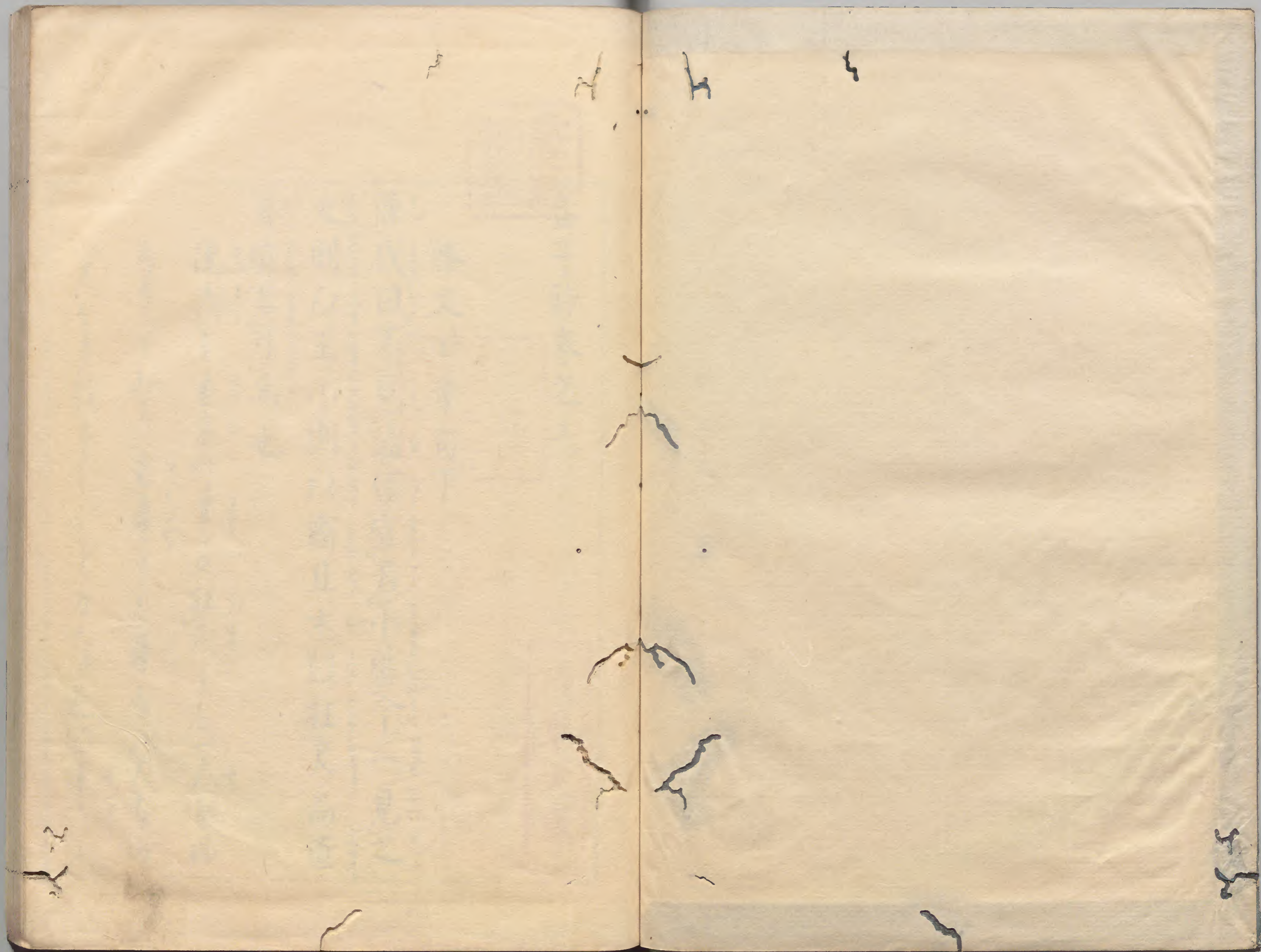
六

和書門		
二四五	一三	號類
六六	函	
二四	册	

內閣文庫		
二四五	一三	和書類
二四	册	
一九	函	
一五	架	

內閣文庫	
番號	和 24513
冊數	24 (16)
函號	191267







孟子鈔卷之六



淺草文庫

滕文

下章句

下

陳代曰不見諸侯宜若小然今一見之

大則以王小則以霸且志曰枉尺而直

尋宜若可為也

陳代也孟子曰子也子也枉尺而直尋

枉尺而直尋也

八尺不也何也○陳代也

いづくクシも子と遂成ニキ行レ形シ何ト成ル事ナ

をモ川ニ海ニめト守ル。若シレバ出テ海ニ

うルもト本意ハシらニ孟子レはシ方々ら

修ムくレんカとレ禮ハ何レとモ事ナ。ゆニ

たリぬレとレ。これハ力ヲをモ守ルるニ此レ

法ヲ守ル。若シレバも陳代の目ヲ守ルんニ色バ

小スらルことナらル。あレがレらニ此レ

うルことモとモくレりレのレ守ル。たリ

とレ法ヲをモ守ルくレ。はシ方々らニ禮ヲ守ルんニ見エ

たリぬレ。大キうレてシをモ。文ヲ五ニ武ヲ五ニ此レ業ヲ成ス。
おノこノ守ルんニ事ナ。五ニたリぬレべク。小キにモ若シくモ若シくモ。
桓公文公のレ霸王とレ此レ守ルべク。これハ禮ハ小シ。
大キのレ識ナらル。ちハいニ此レ禮ヲをモ守ルべク。

これハ大キ業ヲをモ守ルるニはシ方々らニ此レ守ルべク。
孟子レはシ方々らニ見エるニ守ルるニ志スるニ
此レ守ルるニ。且ツ古ノ語ハ云フ。一日をモ守ルるニげク。
八天をモ守ルるニすトいフ事ナとレ此レ守ルるニ一日也ナ。
此レ守ルるニんカ色バ守ルるニはシ方々らニ何レ守ルるニ。

いづくにや。

孟子曰昔齊景公田招虞人以旌不至
將殺之志士不忘在溝壑勇士不忘喪
其元孔子奚取焉取非其招不往也如
不待其招而往何哉

唐より人をこゝろめさるゝお小いもの
の志をりてせむ。海をりてふ事
なり。大吏もた旌をりてせむや。虞
人もは彼より海をりて冠を海に

ある。それを授けてよめよ。田を
たかり也。虞人を苑圃をあらはる人
なり。旌をりてせむ。元をりてせむ。○
子答くいそ。公君にほる。こゝろを
おこす。もと。旌をりてせむ。よは。海にほる。
義小おぬくす。さる。いひ也。さる。商の
京も。たかり。お小。虞人をまよくに
旌をりてせむ。虞人。いそ。京も
大小。いひ。虞人をこゝろめさるゝ

者モリもくもくゆりども。あつらふ小口さし相違れ
まじきことなしと内さす。これ方ハウよりやま
ゆらゆらあつらふ何事ナニゴトがや。この義ギもあつら
ふもくもくなり。

目夫カツツレ枉尺ヘゲテセキヲ而直尋者ナラズシジラモハモツテリヲイフナリ。以利言也。如以利
則枉尋直尺而利亦可為與モシモツセバリヲ

これらへ一尺セキヲをもちきこす。八尺ヒツクをもちきこ
す。とらふ。利得リトクのうへよりいふ也。とら
義ギをすすむ。利得リトクのふもれはけいし。

八尺ヒツクをもちきこす。一尺セキヲをもちきこす。これ
もと。利リもくもくあつらふもくもくなり。

昔者趙簡子シ使王良シテワウリヤウヲト與嬖奚ヘイケイノヲ乘終日而
不獲ズエ一禽オホモ。嬖奚反命曰。天下之賤工也。
或以告王良。良曰。請復之。疆而後可。一
朝而獲エナリ十禽。嬖奚反命曰。天下之良工
也。簡子曰。我使掌シシ與女乘。謂王良良不
可。曰。吾為之。執我馳驅。終日不獲ズ一為オホモ

禽ケダモノをとり得トどと或人アルヒトとのことづい五ワ
 良小リヤウはぐ。五良ワウリヤウ藤実ヘイケイ一ヒトはきく。い
 ちとくびギョ津ツちんと法コヒのめり。に藤実ヘイケイ
 回ドウシ心シせど。五良ワウリヤウ再サイ三サン涉セツ。あしく
 合カツ點テンを。也。これらびと。一朝チヤウれらら
 禽キン十匹ジキを得トたり。藤実ヘイケイ又マタ小コよらむ
 趙チヤウ若ワカシ子シに告ツて曰イハク。五良ワウリヤウを天テン
 下カれ大ダイとよシヤウり。されゆへ一朝チヤウの回アヒダ
 うく乃キおとく禽キンを得ト。也。趙若チヤウワカシ子曰イハク

去キヤウり。向コウ後ゴをわき。五良ワウリヤウ命メイ。一ヒトち
 海ウミと家カを津ツをわきにせり。めんもく。
 五良ワウリヤウ命メイ。一ヒトち良リヤウき。つす。一ヒトち
 いもく。もめれたび。うをわき藤実ヘイケイの
 にめり。法ハフ乃トホ過カす。小コをせり。り。一ヒト付ツキ
 藤実ヘイケイ望ミツり。右ミキ小コの。アをん。村ムラの事コト
 二フタ夜ヒの。とに。うをわき藤実ヘイケイが。あり。
 法ハフ小コを。う。下ゲり。禮レイを。とす。一ヒトち。禽ケダモノれ

ありし(トコロ)糸のきこゆ。きこゆ。これいりあふ
 ぎにきこふ。一期うて十禽を得(キニエ)
 たり。これる。津のなき。小のり。ん。津者ハ
 津乃法の(キヨ)きこふ。て。射者ハ射れ法
 の(キニ)きこふ。ゆんでめき。禽の(キニ)ある。こころ
 入る。ゆり。が。な。なり。鷹。笑。を。け。り
 あり。射。の。車。攻。乃。篇。小。津。す。る
 之の(キヨ)法。乃。きこふ。津。一。ゆ。き。こふ。こ。も
 驅(ハ)り。あ。り。け。り。い。り。ど。射。子。ハ。海。の

矢(ヤ)を。これ。ら。く。ゆ。り。き。こ。も。あ。る。あ。る
 け。り。物(モノ)い。り。あ。る。れ。ば。ら。ら。わ。る。が。こ。も
 之(ニ)れ。射。津。乃。き。こ。ふ。意。なり。い。り。ハ。こ。か。く
 同(ニ)し。ゆ。り。き。こ。ふ。法。小。ゆ。ね。を。小。人。の
 あり。ゆ。り。わ。る。津。き。こ。ふ。と。小。人。と。糸。一。と
 あり。い。ざ。り。わ。る。に。法。解。せん。と。あり。
 禽(キニ)を。き。こ。ふ。の。き。こ。ふ。と。

御者且羞與射者比比而得禽獸雖若
 丘陵弗為也如枉道而從彼何也且子

過矣枉己者未有能直人者也

比之。を。理。ふ。所。に。向。は。さ。ず。一。味。す。

を。り。ふ。○。沖。者。れ。と。比。た。る。一。藝。を。ぞ。

も。り。と。れ。さ。ん。も。前。れ。す。き。一。心。を。

す。め。射。者。と。比。し。る。と。所。ら。ら。ず。

を。と。と。れ。い。し。を。お。せ。は。し。り。に。向。は。

も。り。ふ。ら。ら。ず。禽。獸。を。丘。陵。の。み。と。く。

た。く。さん。と。り。う。り。と。と。く。と。せ。す。こ。も。

ワ。の。法。然。す。と。り。と。り。利。一。も。ら。ら。ず。

一。心。が。く。れ。と。も。い。し。ん。や。君。子。と。ら。れ。

利。を。得。ふ。が。た。め。に。ワ。が。ま。ぶ。き。道。を。

ま。げ。め。も。も。小。ま。く。が。ら。ず。これ。を。い。は。

ま。ら。一。と。う。と。也。う。の。う。へ。子。が。い。屋。敷。

一。心。を。あ。や。ま。さ。り。も。も。ま。す。人。を。由。り。て。

く。人。を。ま。ぐ。に。さ。ら。と。り。ふ。事。は。な。記。

一。と。り。日。の。げ。を。え。う。の。表。不。が。ゆ。つ。

め。は。か。げ。の。ゆ。ら。が。こ。も。敵。を。禮。を。

と。り。理。然。ま。げ。諸。侯。小。ま。み。ゆる。は。

これおれおれ道ミキをうフくフなフひテゆクり
たラりシれタりシ行ク人ノ一トくクなル
道ヲおク一ニめキ五ノ覇ヲたク一ニめキやト
なり。

○景春曰公孫衍張儀豈不誠大丈夫哉
一怒而諸侯懼安居而天下熄

景春公孫衍張儀とも小戦國の時乃
ひとかり公孫衍を鬼谷子にまねび
たのりれなり。熄る志がゆるるを云

火かどヒこシんシたラりシれトもクなルをリふ
○孟子れ時分戦國より小戦國の時乃
一をたえん。これらに公孫衍張儀が
さシてシらシれヲだシゆク一ニめキなり
いフくシ軍ヲをおこシせシ合戦をやめ
させシらシるナらシ。これ小なり富貴
をもりシれタりシ。景春それ二人の
者れ諸侯より小なり。景春それ二人の
らヤゆクなりシ。一ニめキ曰公孫衍張

儀也。備^{タイ}一^{ジヤウ}に大^{タイ}丈夫^{ジヤウ}なる^グは^ハ儀^{コト}やい^ハに^ト
 なる^ハ。一^{コト}度^{コト}を^ハい^ハに^ハい^ハの^ハ事^{コト}あり^ハ終^ハと^ハ
 され^ハ。尚^{シヨ}諸^{カウ}侯^{カウ}より^ハさ^ハさ^ハ雙^カせ^ハく^ハ。終^ハを^ハ
 終^ハと^ハせ^ハ。國^{クニ}を^ハ世^ハに^ハあ^ハら^ハる^ハゆ^ハに^ハ天下^{テニ}れ^ハ
 諸^{シヨ}侯^{カウ}と^ハく^ハを^ハ終^ハと^ハせ^ハく^ハ。氣^キに^ハあ^ハら^ハん^ハ
 ぬ^ハや^ハう^ハに^ハあ^ハら^ハ也^ハ。ま^ハさ^ハこ^ハ二^ニ人^ニ行^ハく^ハも^ハ
 下^シに^ハ。安^ア居^{キョ}し^ハ。安^ア死^シす^ハ。記^キを^ハ天下^{テニ}に^ハ
 安^ア寧^{エイ}し^ハ。火^ヒの^ハま^ハえ^ハら^ハる^ハ所^ハに^ハあ^ハら^ハん^ハ
 志^シに^ハあ^ハら^ハる^ハなり^ハ。これ^ハま^ハさ^ハこ^ハを^ハ見^ミる^ハハ

それ^ハも^ハ。れ^ハま^ハさ^ハこ^ハ。天^{テン}下^カの^ハ安^ア危^キに^ハあ^ハら^ハば^ハ
 大^{タイ}丈^{ジヤウ}夫^フと^ハり^ハふ^ハべ^ハく^ハも^ハれ^ハ。又^{マタ}丈^{ジヤウ}夫^フハ^ハ本^{ホン}に^ハ
 本^{ホン}と^ハこ^ハあ^ハら^ハる^ハ者^{モノ}と^ハり^ハふ^ハべ^ハく^ハも^ハれ^ハなり^ハ。

孟子^{コウ}曰^ク。是^{コト}馬^バ得^{トク}為^ス大^{タイ}丈^{ジヤウ}夫^フ乎^ヤ。子^シ未^ミ學^{ガク}禮^{レイ}
 乎^ヤ。丈^{ジヤウ}夫^フ之^ノ冠^{カウ}也^{ナリ}。父^フ命^{メイ}之^レ女^メ子^シ之^ノ嫁^カ也^{ナリ}。母^{ハハ}
 命^{メイ}之^レ往^キ送^ス之^レ門^{カド}。戒^イ之^レ曰^ク。往^キ之^レ女^メ家^カ必^{カナラ}敬^ス
 必^{カナラ}戒^ス無^ク違^ハ。夫^ト子^シ以^テ順^ニ為^ス正^シ者^{ナリ}。妻^メ婦^フ之^ノ道^{ミチ}
 也^{ナリ}。

冠^{カウ}とは^ハ二十^ニ一^ニの^ハ冠^{カウ}を^ハこ^ハら^ハる^ハ儀^{コト}

ありき。人の毒婦ニヤウフがどれ道也ミヤトリ大丈夫の
 一ケニ人に阿ヤリゆ被ヤリ二人乃ケニそれるその控柄
 あり事コトも大丈夫ヌイダラフら〜あれどもモト中
 う〜とり入ニヨ流コリ候キれ氣キに入ユリるのうへ乃
コト事コトなりそれとりいふとりふささかく〜
 されれひもに〜びニ魚ニ津ニひニ事ニはニら
 ぞぬやうに〜頃ミをミゆミゆミ道ニとニすニら
セウフ毒婦ニれニ為ニ〜とニなり
カリ天下ニ之ニ廣ク居キ立テ天下ニ之ニ正セイ位イ行キ天下ニ

之ニ大道ニ得テ志ヲ與ニ民ニ由レ之ニ不レ得テ志ヲ獨ニ行キ其
 道ニ富ニ貴ニ不レ能レ淫ム貧ニ賤ニ不レ能レ移ス威ニ武ニ不レ能レ
 屈ム此ニ之ニ謂フ大ニ丈ニ夫ニ

テシカ天下ニれ廣ク居キと云フハ天下ニ中ニまニくニひニらニきニ居キ
ト言フ下ニれを云フこれ〜乃チ天ニ理ニれニ由レ〜スレあニか
 のワ〜ニなニれバ天ニ地ニと一ニ体ニ〜ニてニせニゆク
 〜〜〜ニなニれニ〜ニれを廣ク居キと云フ
 〜〜〜ニにニなりニ〜ニにニきニ天ニ理ニのニ〜ニてニ
 私ニのニ事ニ記ニをニしニふニ正セイ位イと云フ天下ニ中ニ〜ニ

の正タビしきらくをせり礼レイなり礼レイの自然シゼンと
かどより記キこころをさうの理リにたがふ事コト
なタビく正タビしきをさイフ天下テンカれ大道ダイダウを天下テンカ
中チウよりこれ大ダイなる道ミチをせり礼レイ義ギ也ナリ
義ギを万マン事ジ乃ナリよりトコロしきココロをココロひとくココロより
ふればなナぬるナれなりナ深シきをココロそれココロを
みミるミうウこコかカ身ミ成シりイ移イるイふフ外ヘへ
うウ成シりイるイ○イ子シれいシくクワハはハ謂イフ
大ダイ丈ジャウ丈ジャウとトもモさサこコれレをウチ乃ナリ中チウをウチさサうウチ乃ナリ

けケこコろロなナりイ天テン理リはホ本ホン然ゼンのジにレ上ウる
居イるイこコろロにイ窮キウ屈クツしシてイ記キ事ジ
形ケイ一イツ色シキ天下テンカれス廣クワ居イるイ乃ナリとトもモさサこコれ
乃ナリ乃ナリをコトをコトわワくク事ジをレ禮レイのタビ正タビしシきに
何ナニもモなナらラばバ次ジにイ色シキ天下テンカ乃ナリ正セイ位イ小コ
立タツたりリ事コトりイ不フどトうウにイ不フこコろロなナりイ記キ
あアはハこコろロ乃ナリ不フ義ギなるコト事コトをコトせセばバ
今日コンニチこれレ不フこコろロなナりイ道ダウ記キをタぐグへヘと
不フこコろロなナりイ色シキ天下テンカ乃ナリ大ダイ道ダウをタ不フこコ

○周霄問曰古之君子仕乎孟子曰仕
傳曰孔子三月無君則皇皇如也出疆
必載質公明儀曰古之人三月無君則
吊

周霄を魏人なり。皇々如也。りもめ
得たぐおろふ事。始ふ事の如く底を
り。質を君より始るゆるり記れ禮物
なり。士を難をもらひ。大夫を雁。士
を羊。○周霄を孟子乃はうへた

りぬを月を。何とぞ出するは。た
物やふとありひ事。ありひがけり
ふ。りらひからる也。古への君もハはヤ
い。ごうあり。孟子云。さうやどはり事
を。り也。傳ふ云。孔子三月無君。人小
事。主人をまれば。そのをともあり事。
得ざるやう。ごこやうもれた。りぬ
やう。おろひた。ぬたり。らぬやうし
り。り。固よりひを。出る。らぬやう。

出於此也
 君^{キミ}曰^{イハ}く^{コト}、^{コト}「^{コト}明^{メイ}儼^{ゲン}曰^{イハ}く、^{コト}「^{コト}一^{イツ}の^{コト}也^{コト}。三月^{ツキ}と
 決^{ケツ}つ^{コト}へ^{コト}ど^{コト}。た^{コト}の^{コト}じ^{コト}。君^{キミ}が^{コト}あ^{コト}ま^{コト}れ^{コト}ば^{コト}、^{コト}こ^{コト}と^{コト}く
 取^キり^{コト}て^{コト}、^{コト}や^{コト}ら^{コト}然^シり^{コト}。これ^{コト}、^{コト}成^{コト}る^{コト}
 事^{コト}也^{コト}。君^{キミ}子^{コト}れ^{コト}仕^{コト}へ^{コト}ら^{コト}ず^{コト}。事^{コト}也^{コト}。
 也^{コト}。

三月無君則弔不以急乎。

三月^{ケツ}無^{コト}君^{キミ}則^{コト}弔^{コト}不^{コト}以^{コト}急^{コト}乎^{コト}。
 三月^{ツキ}を^{コト}弔^{コト}さ^{コト}す^{コト}に^{コト}急^{コト}か^{コト}ら^{コト}ず^{コト}。

此^{コト}、^{コト}あ^{コト}り^{コト}、^{コト}も^{コト}も^{コト}、^{コト}正^{コト}しく^{コト}、^{コト}弔^{コト}め^{コト}ら^{コト}ず^{コト}は
 不^{コト}ふ^{コト}。向^{コト}ぎ^{コト}、^{コト}一^{コト}也^{コト}。然^シる^{コト}に^{コト}、^{コト}弔^{コト}め^{コト}ら^{コト}ず^{コト}は
 不^{コト}れ^{コト}。一^{コト}也^{コト}。弔^{コト}め^{コト}ら^{コト}ず^{コト}に^{コト}あ^{コト}ら^{コト}ず^{コト}や^{コト}。

曰^{イハ}く^{コト}、^{コト}士^シ之^ノ失^シ位^イ也^{コト}。猶^{モトモト}諸^{シヨ}侯^{コウ}之^ノ失^シ國^{クニ}家^カ也^{コト}。禮^{レイ}
 曰^{イハ}く^{コト}、^{コト}諸^{シヨ}侯^{コウ}耕^{コウ}助^{ジュ}以^テ供^{コト}染^シ盛^{セイ}。夫^{コト}人^{ヒト}蠶^サ織^シ以^テ為^ス
 衣^イ服^{フク}。犧^{サカス}牲^{シヤウ}不^ズ成^ズ。染^シ盛^{セイ}不^ズ潔^ズ。衣^イ服^{フク}不^ズ備^ズ。不^ズ
 敢^ズ以^テ祭^ス。惟^シ士^シ無^ク田^{デン}。則^シ亦^モ不^ズ祭^ス。牲^{シヤウ}殺^サ器^キ。四^シ
 衣^イ服^{フク}不^ズ備^ズ。不^ズ敢^ズ以^テ祭^ス。則^シ不^ズ敢^ズ以^テ宴^ス。亦^モ不^ズ
 足^ズ弔^ス乎^{コト}。

染^シ盛^{セイ}と云^{イフ}。黍^{シヨ}稷^{シヨク}を染^シ米^メと云^{イフ}。其^シれを^リて。
う^イ川^{カハ}ハ^レれ^ルふ^シ入^ルたる^ノ不^{トク}を^シ盛^{セイ}と云^{イフ}。犠^ギ牲^{セイ}
と^イわ^スま^ス人^ヲを^リ。牛^{ウシ}羊^{ヒツ}此^ノ事^ヲ也^{ナリ}。牲^{セイ}殺^スる^{コト}。
物^{モノ}を^リ形^ノを^シ決^メま^スる^{コト}。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。
一^ニリ^テ。是^レ四^ノ也^{ナリ}。是^レ三^ノ類^ニ。黍^{シヨ}
稷^{シヨク}を^リの^ノ類^ニ。○士^シは^リ其^ノ類^ニ。往^ツを^リ辭^シて
く^レる^{コト}を^リ。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。諸^{シヨ}侯^{コウ}乃^チ
其^ノ類^ニ。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。國^{クニ}家^カを^リ。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。
一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。

一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。禮^{レイ}書^{ショ}一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。諸^{シヨ}侯^{コウ}藉^{セキ}田^{テン}と云^フ。先^{セン}祖^ゾへ
そ^レを^リ黍^{シヨ}稷^{シヨク}を^リは^スる^{コト}。田^{テン}地^チ也^{ナリ}。其^ノれ
を^リ諸^{シヨ}侯^{コウ}自^ジ身^{シン}た^リ。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。其^ノれ以^テ後^ニ庶^{シヨ}人^{ジン}
也^{ナリ}。耕^{カウ}作^{サク}一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。黍^{シヨ}稷^{シヨク}出^デ米^メを^リ記^キ。
其^ノれを^リと云^フ。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。染^シ盛^{セイ}れ^ルを^リと云^フ。
禮^{レイ}記^キれ^ル黍^{シヨ}義^ギ一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。諸^{シヨ}侯^{コウ}乃^チ
夫^フ人^{ジン}也^{ナリ}。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。
一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。
一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。
一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。一^ニ事^ヲま^スは^スる^{コト}。

二れ一とくはらま國あるゆへなりと
シヨコウクニ
 諸侯國をうーやの事。牛羊亦れ犧ガ
セイ 牲と出牙デキ して。法式のハフキ ごとくにきく。
セイ 祭盛セイ といふ記よやう次。衣服もそれ
セイ ころはきバ。たとへ先祖をセイゾ たつとび。
 うやふこころありといへとも。しりり
コト 事古世次。まゝ。禮記礼五制也。
シ 士ころこれ法ふどして。ワがチヤウ 知す
デシキ 田地をきれば。まゝとどとあり。士ころ

二れ田タ なるきれば。牲ニ ち祭キ 四イ ち衣服イフク ち
 物れころは。物れゆへあり。二事ニ 事コト あり。
 一も成シ 世次。まゝ。こまゝとどとあり。記也。
ココ ワが知あり。二事ニ 事コト やらう。次。法キ 子シ に氣キ の
アヒダ ごとにおり。也。志シ ければ。三月の間。法ハフ 二
テラ ころも。事コト あり。小コ ちとどとあり。也。
シ 出疆必載實何也。
シ されころおをうーるひ。國クニ ざうひを出イッ ぶ
キウ 記キ 一イチ 實ジツ をのきとどとゆく。これ急キウ 小

はをりしむるにせり。これ一なる
いふとせり。

曰。士之仕也。猶農夫之耕也。農夫豈為
出疆舍其耒耜哉。

孟子曰。士はをりしむるにせり。これ一なる
猶農夫の耒耜を去らざるを。

農夫は其の耒耜を去らざるを。猶農夫は
其の耒耜を去らざるを。

然る國を去らざるを。外へ行くことを
たゞやと道具乃耒耜を去らざるを。

一とく士はをりしむるにせり。これ一なる
國を去らざるを。

質を去らざるべし。やうなるを記す也。

曰。晋國亦仕國也。未嘗聞仕如此其急
仕如此其急也。君子之難仕何也。

周霄問。何に仕む。晋乃國亦仕不
仕如此其急也。

周霄問。何に仕む。晋乃國亦仕不
仕如此其急也。

諸侯小君を侍はざるを。士はをりしむるに
せり。

曰。丈夫生而願為之有室。女子生而願
為之有家。父母之心。人皆有之。不待父

母之命。而後嫁。父母之命。而後嫁。父母
之命。而後嫁。父母之命。而後嫁。

母之命媒妁之言鑽穴隙相窺踰牆相
從則父母國人皆賤之古之人未嘗不
欲仕也又惡不由其道不由其道而往
者與鑽穴隙之類也

君子これに非ざる一と誠補らばざる
よはりし次たがかりあそたぐしき
道理を得ざる一と誠おそり男子
いこれ事それ子乃たために妻室あり
じ一と誠補らば女子いするまばるれ

このたぬりし一と依り事家持
うん事を補らばこれあそり人の父母
たれこれいつきとこれ通す也
いふうりして也男女夫婦をさぶし
き父母れんうそ悦ぶとる若あまた
これ男女父母のしひはを媒妁れとが
をを内ととれとるさきとる牆や壁
小穴隙をさるとあをたぐひりあひ
うとひ内ととる牆や壁とる

ありてふらにうま。父母フボいやりじれふ
 阿クニタミ原クニタミ同クニタミ氏クニタミこれいやりじれふなり
 されどもいりへの人ヒトともいりつふ
 ぶらりて。祢ネがてぬきをたう。た
 きの道ミチ一ミチよりゆる事コトをよむじ也。
 うれ道ミチ小ミチよりいりて。むれまひきも
 まるも。これ方ハナよりゆるきくまらんえバ。
ナニヨ男女ナニヨれ元陽ケツケキ成ケツケキきり阿アくるとおれ
ルイ類ルイなり。まればアニ山アニ造アニうごめふはふべ

せんやとあり。
 ○彭ホウ更コウ問コウ曰コウ。後コウ車コウ数コウ十コウ乘コウ。從コウ者コウ数コウ百コウ人コウ。
 以コウ傳コウ食コウ於コウ諸コウ侯コウ不コウ以コウ秦コウ手コウ。孟コウ子コウ曰コウ。非コウ其コウ道コウ則コウ一コウ簞コウ食コウ不コウ可コウ受コウ於コウ人コウ如コウ其コウ道コウ則コウ舜コウ受コウ堯コウ之コウ天コウ下コウ不コウ以コウ為コウ秦コウ子コウ以コウ為コウ秦コウ手コウ。
 彭ホウ更コウ也コウ孟コウ子コウれす子コウ後コウ車コウハコウ從コウ者コウなり
 傳コウ也コウ。宿コウ次コウ傳コウ馬コウのコウ一コウ也コウ。○彭ホウ更コウ問コウ曰コウ
 曰コウ。一コウにひとあり。くらゆら阿アもとにけく
 くらす教ス十ス乘スあり。阿アは記シたつこふ

一のこれをも救百人あり。これ傳るみ
 系。諸侯ふりりや。ふりり。これ外
 ねりたること。何ぞや。孟子曰。これ
 道。心。何ぞ。これ。一。算。れ。食。も。も。も。も。
 何ぞ。名。なり。何ぞ。それ。事。が。道。り。何ぞ。
 也。ハ。舞。れ。堯。の。天。下。を。う。け。たる。も。不
 たり。と。は。世。次。な。り。それ。方。を。た。と。
 也。ア。と。お。も。へ。ふ。や。と。なり。
 曰。否。士。無。事。而。食。不。可。也。

勤更がいそ。いや。ふ。何ぞ。士。たる。の。
 諸侯も。は。之。也。國。の。た。ま。け。も。も。も。
 也。民。の。た。ま。も。も。何。の。功。も。も。
 也。志。か。も。も。何。食。を。も。も。人。れ。や。
 也。何。も。も。何。も。も。何。も。も。何。も。も。
 大。勢。も。も。何。も。も。何。も。も。何。も。も。

曰。子。不。通。功。易。事。以。養。補。不。足。則。農。有
 餘。粟。女。有。餘。布。子。如。通。之。則。梓。匠。輪。輿

皆得食於子於此有入焉入則存出則
悌守先王之道以待後之學者而不得
食於子子何尊梓匠輪輿而輕為仁義
者哉。

功を志しんば其の事れ多しを云事也
志しんば也。美を修計のありたり。梓匠細工
人なり。通を大工也。輪を車れ輪漕なり也。
輿を車作り也。○孟子の曰。切れ出たり
いんば。され功をたほひ也。農と工とれ上り

就中いんば。農を粟をうへ。女子を布を
作りんば。その一と成一人していんば。
事もあつて。次子れを相たぐひ。み
通相せむ。これ功を。これ志んば。にくひへ
あまりある。これを。其の事。たぬ物
を。たぬ。たぬ。たぬ。やう。小世。次を。農か
修計の粟あり。女子は。作り。たぬ
たぬ。修計の布あり。わが。たぬ。事
たぬ。たぬ。たぬ。たぬ。たぬ。たぬ。

あるところを子^シに^{ツウヨウ}通^{ツウ}用^{ヨウ}して^テ何^{ナニ}も
も^モある^ア物^{モノ}を^シて^テ川^{カハ}ニ^シテ^テ不^フ足^{ツク}なる^ルを^シて^テ小^コ
か^カい^イる^ルや^ヤう^ウに^ニ甘^{カン}ば^バ。或^{ワカ}ら^ラぬ^ヌ志^シも^モれ^レな^ナら^ラぬ
も^モれ^レを^シて^テ物^{モノ}れ^レく^ク乃^エ得^エ止^テれ^レ人^{ヒト}を^シて^テた^タの^ノま^マて
さ^サ次^ジへ^ヘ。あ^イう^ウう^ウハ^ハ家^{イヘ}を^シて^テ清^{セイ}ら^ラる^ルと^シて^テ親^{シン}も^モは
梓^シ通^{ツウ}の^ノ類^{ルイ}を^シて^テた^タ乃^エも^モら^ラる^ル備^ヒ成^{セイ}は^ハし^シて^テ親^{シン}
も^モは^ハ婦^フ婣^{イン}の^ノ類^{ルイ}を^シて^テた^タ乃^エも^モら^ラる^ルじ^ジへ^ヘ。そ^ソれ^レ類^{ルイ}
の^ノま^マれ^レ。そ^ソの^ノ節^{セツ}に^ニ事^{コト}を^シて^テ川^{カハ}ニ^シテ^テ子^シを^シて^テ子^シを^シて^テ子^シ
食^{シヨウ}を^シて^テう^ウく^クべ^ベ。こ^コう^ウに^ニ人^{ヒト}あり^リ。先^セ王^{ワウ}乃^ニ

道^{ミチ}を^シて^テ仁^ニ義^ギ乃^ニも^モ。仁^ニ義^ギを^シて^テ者^{カウ}才^{テイ}あり^リ。大^{オホ}
なり^リと^シて^テか^カい^イ。あ^イう^ウう^ウハ^ハ小^コに^ニこれ^{コノ}を^シて^テ入^イる^ルも^モた^タ
親^{カウ}に^ニ者^{カウ}を^シて^テは^ハし^シ。出^イて^テく^クと^シて^テ長^{チヤウ}上^{シヤウ}なり^リ。
は^ハし^シて^テ小^コに^ニ才^{テイ}あり^リ。先^セ王^{ワウ}に^ニ義^ギの^ノ乃^ニを^シて^テ
も^モら^ラる^ルも^モた^タ。其^イの^ノ類^{ルイ}も^モた^タ。は^ハし^シて^テや^ヤう^ウ
り^リ。後^{カウ}乃^ニ学^{ガク}者^{シヤ}を^シて^テは^ハし^シて^テ小^コに^ニ才^{テイ}あり^リ。そ^ソれ^レを^シて^テ
は^ハし^シて^テ一^{イチ}に^ニ才^{テイ}あり^リ。乃^ニら^ラも^モた^タて^テこれ^{コノ}道^{ミチ}を^シて^テは^ハし^シて^テ一^{イチ}
ま^マく^クか^カい^イ。そ^ソれ^レ誰^{ナニ}も^モ世^セ道^{ダウ}に^ニあ^アら^ラぬ^ヌも^モた^タ。
大^{オホ}なる^ル切^キり^リ。そ^ソれ^レを^シて^テ大^{オホ}なる^ル才^{サイ}あり^リ。そ^ソれ^レを^シて^テ作^{ツク}ら^ラぬ^ヌも^モた^タ。

類一何れも。あつらふ子切なりと云。
食はあつらふくむふ。これ子梓
通編樂をたのむ。に義をさる
と。これうらむじむるなり。いふ一たる
こゝろなり。

曰。梓匠輪輿。其志將以求食也。君子之
爲道也。其志亦將以求食與。曰。子何以
其志爲哉。其有功於子。可食而食之矣。
且子食志乎。食功乎。曰。食志。

彭更がいよく。いや梓匠輪輿をたのむと
ひい。に義をさる。あつらふ子切。梓
匠輪輿乃類也。それうらむをさる
ゆかり。これこれ職をして。これい
よ。食をたもたふ。なり。なり。
これい。小食。しるなり。君子は志を
それおとく。食はれとめんといふ。
左よ。あるまじ。食をたもむ。は
これよく。なり。諸侯小食す。

こころがむごきなりと云ふなり。孟子
いそぐ。ひまれ。こころは。いそぐ。
有り。あれが。なり。志。は。か。ま。へ。
か。次。子。り。切。さ。あ。は。食。す。き。こ。ろ。
よ。く。食。さ。ぬ。も。し。り。け。こ。に。切。さ。
あ。は。食。さ。し。じ。ぬ。こ。れ。常。れ。理。也。
な。し。そ。れ。方。き。ひ。に。食。さ。し。ぬ。
こ。ろ。け。に。よ。い。事。食。せ。し。ぬ。
ま。し。子。り。切。あ。に。よ。い。事。食。せ。

しる。か。と。なり。彭。更。曰。け。こ。切。は。よ。
ら。志。小。し。り。く。も。ゆ。い。ふ。也。
曰。有。人。於。此。毀。瓦。畫。墁。其。志。將。以。求。食。
也。則。子。食。之。乎。曰。否。曰。然。則。子。非。食。志。
也。食。功。也。
毀。ち。う。ら。り。於。事。な。り。瓦。を。破。り。か。り。
な。り。墁。を。磨。り。乃。て。い。き。な。り。畫。を。
な。し。い。ろ。く。れ。し。ご。と。成。志。を。記。
ち。し。と。なり。○こ。ろ。に。い。ふ。事。なり。

子^シが^シや^シ孫^シの^シの^シつ^シを^シう^シら^シり^シ悔^シこ^シん^シん^シ
た^シら^シん^シん^シに^シ悔^シを^シか^シん^シん^シん^シ
これ^シを^シま^シし^シ悔^シい^シ切^シり^シる^シも^シく^シも^シく^シ
却^シニ^シ子^シが^シた^シめ^シは^シ悔^シを^シそ^シこ^シう^シ
換^シを^シか^シら^シる^シや^シ悔^シれ^シも^シそ^シれ^シ人^シ志^シを^シ
子^シイ^シ食^シを^シた^シく^シお^シも^シく^シか^シく^シら^シ
た^シめ^シ子^シこ^シら^シ所^シに^シ悔^シを^シし^シる^シも^シく^シも^シ
これ^シも^シあ^シも^シ食^シを^シそ^シこ^シう^シめ^シん^シや^シも^シ也^シ
彭^シ更^シが^シい^シも^シこれ^シも^シ害^シある^シも^シ也^シ

悔^シれ^シも^シ食^シを^シた^シく^シお^シも^シく^シか^シく^シら^シ
た^シめ^シ子^シこ^シら^シ所^シに^シ悔^シを^シし^シる^シも^シく^シも^シ
これ^シも^シあ^シも^シ食^シを^シそ^シこ^シう^シめ^シん^シや^シも^シ也^シ
彭^シ更^シが^シい^シも^シこれ^シも^シ害^シある^シも^シ也^シ

○萬章問曰宋小國也今將行王政齊
楚惡而伐之則如之何

これら記宋王偃勝を不らかり辭を

伐前楚魏の兵ハハロー
 覇王と云々んハハロー
 せんハハロー故カハロー小万章孟子に
 同トハロー宋スハロー小國コクニハローいハロー海ウミをユアス
 國クニをユアス王政ワウセイをユアス天下テンカにユアス
 海ウミをユアス新楚シンソの大國ダイクニをユアス
 補ホハローこれコをユアスんンとトハローこれコをユアス道のダウ
 國クニをユアス道ダウにユアス國クニをユアス道ダウにユアス國クニをユアス道ダウにユアス
 是コれコもモ小コもモ大ダイもモ敵テキもモべベるルにニハロー
 弱ヨクきをユアス海ウミをユアス記キをユアス海ウミをユアス記キをユアス海ウミをユアス記キをユアス
 いくイくクしてシてテよヨかカんンとトハロー平ヒラ竟キヤウをユアス仁ニをユアス
 仁ニをユアス仁ニをユアス仁ニをユアス仁ニをユアス仁ニをユアス仁ニをユアス
 海ウミをユアス海ウミをユアス海ウミをユアス海ウミをユアス海ウミをユアス海ウミをユアス

孟子ミン子曰湯居亳與葛為鄰葛伯放而不
 祀湯使人問之曰何為不祀曰無以供
 犧牲也湯使遺之牛羊葛伯食之又
 不祀湯又使人問之曰何為不祀曰無
 以供粢盛也湯使亳衆往為之耕
 弱ヨクきをユアス海ウミをユアス記キをユアス海ウミをユアス記キをユアス海ウミをユアス記キをユアス
 いくイくクしてシてテよヨかカんンとトハロー平ヒラ竟キヤウをユアス仁ニをユアス
 仁ニをユアス仁ニをユアス仁ニをユアス仁ニをユアス仁ニをユアス仁ニをユアス
 海ウミをユアス海ウミをユアス海ウミをユアス海ウミをユアス海ウミをユアス海ウミをユアス

饋食葛伯帥其民要其有酒食黍稷者
奪之。不授者殺之。有童子以黍肉餉殺
而奪之。書曰。葛伯仇餉。此之謂也。

伯也。爵なり。放也。き。侮。なるをり。

○孟子云。宋も國がら。いさ。記し。一。

五政を。お。新。ふ。に。た。く。決。と。り。お。や。

湯乃。一。と。決。ん。ん。多。志。さ。ぶ。湯。じ。う。

亳。是。小。わ。く。ま。ひ。一。と。記。葛。れ。國。と。隣。

たり。葛。伯。放。埒。お。わ。れ。よ。く。先。祖。の。

ま。い。り。成。せ。ざ。り。と。也。湯。人。を。決。う。り。

一。何。と。し。く。す。つ。ら。げ。る。が。と。回。た。る。ひ。

一。と。記。葛。伯。が。う。く。一。小。ま。い。り。ま。は。い。

を。ま。い。り。い。る。を。り。ワ。が。も。茶。り。犧。牲。

ら。ぶ。き。牛。羊。を。物。と。地。れ。し。一。一。い。ま。い。

ら。ど。と。い。へ。湯。人。を。決。う。り。牛。羊。を。

お。く。し。く。す。つ。ら。げ。る。を。犧。牲。め。は。

世。決。ら。ら。し。一。一。意。こ。め。ら。し。一。一。い。て。肉。

ま。い。り。決。湯。ま。い。り。人。を。一。一。一。一。一。

いそく。犠^ギ牲^{セイ}を^レ伴^ウ々^々たる^レなり。

行^スとく^スま^ツる^レ歩^ク路^トも^レなり。昔^カ伯^クが^ス云^フ

い^フま^ハは。そ^レり^レそ^レが^レい^ハる^也。志^スら^ハに

番^{シヨ}稷^{シヨク}を^レ記^シゆ^ヘい[。]案^シ感^{セイ}小^{キョウ}法^{ホウ}ど^ク於^テ

こ^トも^レ然^ルと^シ決^ス也[。]そ^レれ^レゆ^ヘま^ツる^レど^トも^レなり。

湯^{タウ}亮^{リョウ}れ^ハ大^{ダイ}勢^{セイ}れ^ハい^ハと^シ決^スは^クる^レ也[。]昔^カく^ク

注^{チヨウ}く。昔^カ伯^クが^レた^メに^レた^ガヤ^ク一^ニなり。

そ^レれ^レに^レ老^{ラウ}人^{ジノ}小^{セウ}児^ニの^レた^ガヤ^クと^シい^ハる^レ也[。]そ^レれ

な^ルづ^レら^レる^レ也[。]た^ガヤ^クと^シい^ハる^レ也[。]食^{シヨク}物^{モノ}を^レ

そ^レら^レお^ウり^レなり。昔^カ伯^クの^レが^レも^レま^レる^レ乃^ニ

氏^シを^レひ^クさ^シは^クる^レ也[。]そ^レれ^レ食^{シヨク}物^{モノ}れ^ウち^ス。

酒^{シユ}飯^{ハン}も^シも^シ番^{シヨ}稷^{シヨク}な^ガれ^レ類^{ルイ}の^レを^レえ^テ

路^{ミチ}を^レは^クる^レも^レなり[。]こ^トと^クそ^レう^レら^レひ

と^リなり^也。そ^レり^レあ^ハる^レは^クる^レそ^レれ^レあ^ハる^レ也[。]

そ^レら^レら^レる^レなり[。]そ^レれ^レに^レ記^シす^レる^レ也[。]

番^{シヨ}れ^レぬ^レ。肉^{ニク}な^ガれ^レ也[。]そ^レれ^レに^レ記^シす^レる^レ也[。]

阿^アり[。]昔^カ伯^クそ^レれ^レを^レさ^シる^レなり[。]そ^レれ^レを^レさ^シる^レ也[。]

そ^レれ^レを^レさ^シる^レ也[。]書^{シヨ}經^{キョウ}仲^{チュウ}融^{リウ}之^ノ諾^{ダク}

小いよく。昔伯が餉カッいりあつをなす決と
いへるも。これとも成りなかり。要ヨウと治チり
さへ。さるを云。餉カッを。食シヨクをたぐはくはつ。せ
なり。

為シ其殺シ是童子コノコ而証シ之ヲ四海シカイ之内ノ皆曰ウチニテイフ
非ア富トク天下テンカ也ナリ。為シ匹夫ヒツフ匹婦ヒツフ復フタヘ讎ニ也ナリ。

其ソノも昔伯カッを云イフ。非ア富トク天下テンカとは。天下テンカと
されば。金キン浪ナミ財サイ寶ホウ不足フソクなり。記キし
非アれを。し。さ。が。終ハシる。と。な。り。記キし。

と。好ヨクり。匹夫ヒツフ匹婦ヒツフと。夫婦フウフか。け。じ。う。い

ふ。く。行ユクり。い。や。し。き。の。成ナリ。○昔伯カッ伯カッ

童子コノコを。と。ら。し。ゆ。湯ユ王オウ。と。れ。が。左サ。後ゴ

軍クン。兵ヘイ。を。た。う。征セイ。伐ハツ。し。た。り。也ナリ。

四海シカイの。う。ら。ま。れ。く。湯ユ王オウ。と。天下テンカ。知チ。る。さ

る。れ。と。む。し。ひ。し。や。を。と。ら。ん。と。す。

かく。兵ヘイ。を。た。う。し。た。き。ぬ。ま。く。と。な。り。た。だ

匹夫ヒツフ匹婦ヒツフの。た。め。り。あ。ら。は。し。た。り。と。す。

か。く。さ。終ハシ。ら。ん。と。な。り。し。た。り。ひ。て。れ

あつたなり。

湯始征自葛載セイヤ十一セイノ征而無敵於天下ニシカニ
東面而征セイヤバセイイウツミ西夷怨セイヤ南面而征セイヤ北狄怨ウツム曰
奚為後我セイヤ民之望之セイヤ若大旱之望雨也セイヤ
歸市者弗止セイヤ芸者不變セイヤ誅其君セイヤ弔其民セイヤ
如時雨降セイヤ民大悦セイヤ書曰セイヤ後我セイヤ后セイヤ后来其セイヤ
無罰セイヤ

夷狄と云びびも形り大旱と云日たり也
弔と云民れ暴虐より哀へる事と云なり

何分りセイヤ婦人の名をとりふセイヤ○湯王は
めまゆセイヤ征伐しセイヤたふ事セイヤをセイヤ乃セイヤ回セイヤ
小敵對する者セイヤのセイヤなりセイヤやうセイヤになりセイヤなり
東に征伐しセイヤてセイヤ西セイヤの方セイヤ
れ多セイヤびセイヤもセイヤぐセイヤらセイヤもセイヤもセイヤれセイヤるセイヤへセイヤじセイヤひセイヤもセイヤ
征伐しセイヤればセイヤ水セイヤの名セイヤもセイヤぐセイヤらセイヤもセイヤ云セイヤ
何と云りセイヤきセイヤとセイヤばセイヤ後セイヤよりセイヤもセイヤるセイヤがセイヤとセイヤ云セイヤ

タミ^ニ 湯王の軍^{キタ}ありたふをのぐじ事^{コト}

大^{トホ}ひたりれ^{トシ}る^{トシ}。阿^ア武^ブの^ノむじ^{ムジ}が^ゴこ^コを

征^{セイ}伐^{バツ}する^{グン}に^ゴる^ゴ軍^{グン}者^ゴも^ゴなく

り^コこ^コを^コあ^コり^コ中^コの^コ形^コを^コと^コさ^コう^コする

あ^アる^ア。湯^ヌ王^ウは^ウ征^{セイ}伐^{バツ}し^{セイ}た^{セイ}る^{セイ}あ^アり

ま^マる^マ。そ^コれ^コ回^コ中^コの^コし^コぐ^コあ^コり^コ市^イノ

ゆ^ユも^ユあ^ユり^ユた^ユる^ユ。あ^アら^アは^アら^アる^ア。回^マふ^マあ^マり^マて^マら^マる

ま^マる^マ。の^ツも^ツ常^ツふ^ツか^ツら^ツる^ツ。こ^コれ^コを^コあ^コり

あ^アる^ア。征^{セイ}伐^{バツ}し^{セイ}て^{セイ}ま^マの^マ下^シれ^シ民^{タミ}を^{タミ}こ^コし^コる

ゆ^ユ。湯^ヌ王^ウの^ウ軍^イれ^イり^イる^イ。こ^コを^コあ^コり

ま^マる^マ。そ^コれ^コ回^コ中^コの^コし^コぐ^コあ^コり^コ市^イノ

ゆ^ユも^ユあ^ユり^ユた^ユる^ユ。あ^アら^アは^アら^アる^ア。回^マふ^マあ^マり^マて^マら^マる

ま^マる^マ。の^ツも^ツ常^ツふ^ツか^ツら^ツる^ツ。こ^コれ^コを^コあ^コり

あ^アる^ア。征^{セイ}伐^{バツ}し^{セイ}て^{セイ}ま^マの^マ下^シれ^シ民^{タミ}を^{タミ}こ^コし^コる

ゆ^ユ。湯^ヌ王^ウの^ウ軍^イれ^イり^イる^イ。こ^コを^コあ^コり

ま^マる^マ。そ^コれ^コ回^コ中^コの^コし^コぐ^コあ^コり^コ市^イノ

ゆ^ユも^ユあ^ユり^ユた^ユる^ユ。あ^アら^アは^アら^アる^ア。回^マふ^マあ^マり^マて^マら^マる

ま^マる^マ。の^ツも^ツ常^ツふ^ツか^ツら^ツる^ツ。こ^コれ^コを^コあ^コり

有^{アリ}彼^コ不^フ為^シ臣^シ。東^{トウ}征^{セイ}綏^{スイ}厥^{ケツ}士^シ女^{ニョ}匪^{ヘイ}厥^{ケツ}玄^{ケン}黄^{ワウ}

服フクの事コト八百ヒャク國クニありしウチのそれ内ウチを
討テウむウラしシ一味ニしてニラ周シウ小シウ臣チンたるクは
爲タシすシ。急キウ事シをサしシ。士シ女ニョ皆ニあハつタたラずク
之レれハ武ブ王ワウ東トウ証ロイしシ。其レ士シ女ニョを
やスんズんズんズやウしシ。士シ女ニョをサらシるニにシ。其レを
小シウ黄ワウをサらシるニ。女ニョをサらシるニ。其レをサらシるニ。
武ブ王ワウをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
討テウむウラしシ下カにシ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。

目メ誠セイなるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。
其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。其レをサらシるニ。

これぞうめを。誅伐する所なく。民その徳に
あはれむ。類をよひて。むくみ。なり。
これ湯をこれと。か。る。こと。なり。

太誓曰。我武惟揚。侵于之疆。則取于殘。
殺伐用張。于湯有光。

右れ。と。く。なる。ゆ。へ。書。經。の。大。誓。の。篇。

小曰。武王。武。威。た。く。あ。り。て。民。を

そ。こ。ろ。ふ。を。と。り。て。誅。伐。し。て。これ。を

く。め。り。て。強。賊。を。こ。ろ。し。て。征。伐。する。は。功。

これを用ひて。湯をこれと。か。る。こと。なり。

湯をこれと。か。る。こと。なり。

不行王政。云爾。苟行王政。四海之内。皆
舉首而望之。欲以為君。齊楚雖大。何畏
焉。

美。章。が。り。ふ。と。こ。ろ。れ。宋。乃。君。五。政。行
た。こ。ろ。ん。と。こ。ろ。ん。を。商。楚。く。こ。ろ。ん。ゆ。り
を。あ。ら。わ。い。て。こ。ろ。し。て。これ。を。五。政。行

おこしをばらる上よりいへるこれ也。王政を
おこしをばらる。曰海れうらこれ首をあげく
それ人を乃がみさ。君とせゆくねん
まればいかり大固なりとくをかんぞ
おろしにらんやとれり。

○孟子謂戴不勝曰。子欲子之王之善
與。我明告子。有楚大夫於此。欲其子之
齊語也。則使齊人傳諸。使楚人傳諸。曰。
使齊人傳之。曰。一齊人傳之。衆楚人咻

之。雖日撻而求其齊也。不可得矣。引而
置之。莊獄之間。數年。雖日撻而求其楚
亦不可得矣。

戴不勝。宋國の臣下なり。これ
おろし。宋王乃人のこと。これ
おろし。宋王乃人のこと。これ
おろし。宋王乃人のこと。これ
おろし。宋王乃人のこと。これ
おろし。宋王乃人のこと。これ
おろし。宋王乃人のこと。これ
おろし。宋王乃人のこと。これ
おろし。宋王乃人のこと。これ
おろし。宋王乃人のこと。これ

カシ子にばぐへー。えふ小櫃ツクミの回タケウれを更カケる

登トじ。楚國ソコリのものセのりコひセをコ阿アきアをコ

ふコまセくコとセれコ子コのコ奇コのコものコのコりコひコふコまコまコん

こコとコ成コ補コがコまコんコとコ奇コ人コ一コ行コへコまコん

のコ尚コもコとコ楚ソコリ人コ一コ行コへコしコまコんコのコ載タキ不コ

勝セウがコまコ奇コのコ語コをコまコぬコぬコらコハコ奇セ人コをコ

まコまコくコ行コへコまコまコとコべコとコ如コりコまコ子コのコ目コ

とコ一コ人コのコ奇セ人コのコ行コへコまコまコ大コ勢コのコ楚ソ

人ヒト不コ断コヤコリコマコリコいコまコいコんコ毎ニ日コ

ふコまコのコ子コ然コらコらコとコ奇コのコ事コをコ成コす

うコれコまコのコココのコ奇コ一コ行コへコまコまコとコする

とコとコとコ奇コのコ事コをコ成コすコのコ尚コもコ

成コ引コけコまコるコ奇コのコ地コ乃コ莊コ嶽コのコ回コ

たコのコバコんコりコとコまコまコとコとコとコ奇コ人コ成コる

ゆコへコおコもコとコとコとコのコりコひコとコりコのコまコたコの

奇コ小コ年コ奇コ。これコとコれコとコれコとコ毎コ日コとコらコなコひコて

楚國ソコリ乃コまコのコりコひコふコまコとコとコとコとコとコとコ楚コ

のコとコれコりコひコふコまコとコとコとコとコとコとコとコとコとコとコとコとコとコ

きけ。臣下。れ。君。臣。く。せん。と。あり。ふ。れ。と。
く。記。す。所。に。あ。ら。ん。君。れ。と。ん。と。一。君。く。
何。ん。人。を。こ。を。の。ら。れ。バ。自。然。と。く。ら。
ふ。べ。き。ふ。と。あり。

子。謂。薛。居。州。善。士。也。使。之。居。於。王。所。在。
於。王。所。者。長。幼。異。尊。皆。薛。居。州。也。王。誰。
與。為。不。善。在。王。所。者。長。幼。異。尊。皆。非。薛。
居。州。也。王。誰。與。為。善。一。薛。居。州。獨。如。宋。
王。何。

薛。居。州。也。宋。の。國。乃。に。臣。下。也。長。と。
と。ち。を。お。と。り。き。の。成。り。不。幼。と。
いと。せ。ら。さ。の。の。早。と。い。や。く。さ。ら。
た。例。と。さ。の。の。なり。○い。下。載。不。勝。薛。居。
列。を。宋。國。の。善。士。なり。と。く。何。を。と。め。
る。王。の。さ。ら。一。お。ら。し。い。備。と。り。
これ。を。忠。義。なり。あ。ら。れ。と。王。の。さ。ら。
何。ん。と。れ。臣。下。長。幼。異。尊。の。類。まで。
これ。薛。居。州。の。一。と。く。賢。德。何。ん。バ。さ。ら。

段干木踰垣而辟之。池柳閉門而不內。
是皆已甚。迫斯可以見矣。

魯れ鏐云れ。段干木の文侯乃。段干木の人。池柳の文侯鏐云れ。

段干木を魏の文侯乃。段干木の人。池柳を魏の文侯鏐云れ。

段干木を魏の文侯乃。段干木の人。池柳を魏の文侯鏐云れ。

段干木を魏の文侯乃。段干木の人。池柳を魏の文侯鏐云れ。

陽貨欲見孔子。而無禮。大夫有賜於士。不得受於其家。則往拜其門。陽貨闚孔子之亡也。而饋孔子蒸豚。孔子亦闚其亡也。而往拜之。當是時。陽貨先豈得

不見。

陽貨也。魯の大夫なり。○じか陽貨孔子を以て。

孔子を以て。魯の大夫なり。○じか陽貨孔子を以て。

おのひし。か。と。も。それ。ごとく。なる。礼。ふ。れば。バ。
ひ。も。れ。批。判。を。に。お。る。大。丈。より。士。小。を。を。
た。ま。へ。バ。士。たる。を。れ。宿。り。お。く。を。れ。物。を。
自。身。う。く。ま。ハ。各。別。に。お。る。が。大。丈。の。家。に。
い。ひ。ま。ぬ。お。謝。さ。り。一。と。れ。て。陽。貨。を。れ。
一。と。は。け。さ。り。と。け。と。孔子。れ。留。守。を。う。り。
か。ひ。ま。ぬ。孔子。り。し。り。なる。い。ろ。こ。を。た。く。
ま。り。孔子。禮。れ。通。り。し。り。なる。い。ろ。こ。を。た。く。
陽。貨。が。よ。だ。く。に。お。る。ゆ。か。ざ。れ。バ。礼。小。

そ。じ。く。い。へ。と。と。陽。貨。が。お。り。し。り。なる。い。ろ。こ。を。た。く。
を。う。か。ひ。ま。ぬ。陽。貨。が。家。へ。し。り。なる。い。ろ。こ。を。た。く。
お。り。て。禮。を。か。へ。一。た。り。ぬ。こ。れ。は。礼。小。
お。り。し。り。なる。い。ろ。こ。を。た。く。陽。貨。が。お。り。し。り。なる。い。ろ。こ。を。た。く。
お。り。し。り。なる。い。ろ。こ。を。た。く。陽。貨。が。お。り。し。り。なる。い。ろ。こ。を。た。く。
お。り。し。り。なる。い。ろ。こ。を。た。く。陽。貨。が。お。り。し。り。なる。い。ろ。こ。を。た。く。

曾子曰。脅肩諂笑。病于夏畦。子路曰。殊。
同而言。觀其色。赧赧然。非由之所知也。
由是觀之。則君子之所養。可知已矣。

脊^{シヤスカタラ}肩^カも。か^ニを^ニを^ニが^ニじ^ニふ^ニと^ニれ^ニて
溜^{ツラヒワラフ}笑^エま^ニけ^ニひ^ニた^ニく^ニそ^ニお^ニを^ニを^ニね^ニど^ニ人^ニの
キ^{イル}氣^ニ入^ニだ^ニめ^ニり^ニ。志^ニひ^ニま^ニけ^ニけ^ニら^ニ物^ニを^ニり^ニ。
夏^{カケイ}畦^{ヤゲツ}も^タ夏^カ月^コ小^コ回^コ乃^コ畦^コを^コお^コさ^コし^コる^コを
リ^{エニ}。冬^{エニ}天^{エニ}一^{エニ}耕^カ作^カあ^カら^カま^カ。そ^カれ^カを^カさ^カ
辛^{シニ}苦^ニな^ニ終^ニ一^ニと^ニれ^ニて^ニ報^ニ。然^ニま^ニう^ニる^ニふ
そ^ニけ^ニが^ニく^ニく^ニお^ニり^ニふ^ニ。お^ニと^ニい^ニふ^ニ乃^ニい^ニる
あ^ニが^ニく^ニな^ニら^ニな^ニり^ニ。○^ニ孟^ニ子^ニれ^ニ曰^ニ曾^ニ子^ニの^ニい^ニて
い^ニへ^ニる^ニ一^ニと^ニち^ニり^ニ曰^ニ世^ニ間^ニあ^ニひ^ニと^ニれ^ニぬ^ニり^ニ入^ニ

く^ニお^ニと^ニい^ニふ^ニん^ニと^ニも^ニ。ん^ニま^ニと^ニお^ニり^ニぬ^ニり^ニ。
か^ニこ^ニを^ニを^ニが^ニめ^ニ。風^ニの^ニ聲^ニひ^ニけ^ニぬ^ニれ^ニ
む^ニれ^ニん^ニ入^ニと^ニ夏^ニ月^ニ冬^ニ天^ニ一^ニ回^ニの^ニう^ニも^ニぬ^ニ
お^ニり^ニぬ^ニる^ニ一^ニと^ニち^ニり^ニ。辛^ニ苦^ニなる^ニ事^ニ也^ニ子^ニ路^ニが
い^ニへ^ニる^ニ人^ニの^ニ出^ニ今^ニ一^ニ物^ニ終^ニら^ニと^ニ云^ニい^ニあ^ニひ
た^ニう^ニひ^ニり^ニ。ん^ニが^ニあ^ニら^ニる^ニの^ニこ^ニも^ニお^ニり^ニあ^ニら^ニふ^ニ
あ^ニら^ニふ^ニの^ニこ^ニも^ニお^ニり^ニぬ^ニる^ニ。そ^ニの^ニん^ニ入^ニと^ニお^ニり^ニぬ^ニ
う^ニぬ^ニり^ニ。ひ^ニり^ニふ^ニぬ^ニに^ニあ^ニい^ニせん^ニと^ニも^ニ。こ^ニの
方^ニけ^ニり^ニひ^ニり^ニく^ニら^ニる^ニの^ニ向^ニり^ニ。そ^ニれ^ニ款^ニ字^ニと^ニ

あがく^{ナリ}毎^ニく^ニ減^ハく^ニし^テし^テり^カく^ニり^テる^底
 たり。この^ニび^トく^ニり^テる^子路^ガある^ニ
 人^ノあり^トも^ト由^ニも^トに^ハ合^ハて^テゆ^ッる^ガら^ニび^トも^ト
 たり^ニ由^ニも^ト子^ノ路^ガ名^ニり^テり^ニこの^二人^ノの^事が
 小^シら^ニし^テる^ハん^バあ^リま^スら^ニる^事の^つま^に
 や^しら^ニし^テる^ハん^バあ^リま^スら^ニる^事の^つま^に
 方^ガら^ニあ^リま^スら^ニる^人も^あら^ニる^事
 あり^バ法^ハ候^ス一^ツま^にゆ^ッる^事も^あら^ニる^事
 あり^バ法^ハ候^ス一^ツま^にゆ^ッる^事も^あら^ニる^事

○戴^{ダイ}盈^{エイ}之^ノ日^ニ。什^シ一^ト去^ク関^{カン}市^シ之^ノ证^シ。今^{イマ}兹^{ココ}未^ミ能^ス請^ス輕^ク之^ヲ以^テ待^ツ来^ル年^ト。然^{シテ}後^ニ已^ニ何^カ如^ク。

戴^{ダイ}盈^{エイ}之^ノ日^ニ。什^シ一^ト去^ク関^{カン}市^シ之^ノ证^シ。今^{イマ}兹^{ココ}未^ミ能^ス請^ス輕^ク之^ヲ以^テ待^ツ来^ル年^ト。然^{シテ}後^ニ已^ニ何^カ如^ク。
 裁^{サイ}盈^{エイ}之^ノ也^ニ。宋^{ソウ}れ^ニ大^ト丈^トなり。什^シ一^トも^ト十^シ分^ブ乃^ハ
 う^ラら^ニし^テる^ハい^ハし^テる^ハを^もら^ニし^テる^ハ一^ツも^トなり。井^イ田^{テン}れ^ニ法^ハ也^{ナリ}。
 証^シも^トう^ラら^ニし^テる^ハや^うなり。○戴^{ダイ}盈^{エイ}之^ノ日^ニ。田^{テン}地^チも^ト
 一^ツれ^ニ十^シ分^ブが^一乃^ハを^もら^ニし^テる^ハを^もら^ニし^テる^ハ。関^{カン}前^{ゼン}も^トハ
 市^シれ^ニし^テる^ハも^トなり。た^ダ彼^レ人^ニた^ラあ^リて^はし^テる^ハも^ト
 一^ツれ^ニを^もら^ニし^テる^ハ味^ミあ^リる^事も^トなり。う^ラら^ニし^テる^ハも^トなり
 事^{コト}を^もら^ニし^テる^ハに^いふ^事も^トなり。年^{ネン}貢^{キョウ}も^ト十^シ分^ブ一^ツ小

あり。次、國市あり。証あり。古法あり。
あり。ゆるあり。ゆるたぬ。一、夜あり。
よし。急よはあり。たし。事も。急よ。き。
不。どに。地。終。く。と。か。あ。く。して。来。年。ノ。イ。
イ。タ。新。り。た。ら。ば。ひ。と。や。め。く。古。法。ノ。イ。ハ。
さん。い。く。と。れ。ア。

孟子曰。今有人日攘其鄰之雞者。或告之曰。是非君子之道。曰。請損之。月攘一雞。以待來年。然後已。如知其非義。斯速

已矣。何待來年。

攘を。ワガ。か。へ。ら。り。を。幸。ノ。イ。ぬ。む。じ。を。
り。○。孟。子。の。曰。い。ぬ。一。に。ひ。と。あり。隣。の。
よ。ハ。と。り。の。ワ。ガ。か。へ。ら。り。を。幸。に。ぬ。む。じ。
これ。あり。ある。人。諫。む。い。と。く。人。の。雞。を。
ぬ。む。じ。を。不。義。と。して。君子。れ。道。小。あり。
ゆる。不。ど。に。之。用。に。せ。よ。と。い。ひ。く。と。れ。
それ。人。乃。い。へ。ら。る。急。に。や。む。事。を。な。ら。ず。
ゆる。禮。に。毎。日。一。匹。殺。ら。る。成。や。め。く。一。月。

小一匹^{キヒ}遊^ユとりて。來^{ライ}年^{ネン}一^{イチ}リ^リと^トは
ひくとやめんといへ。これとぬきこのの
み^ミ見^ミと^トりて。一^{イチ}と^ト成^{セイ}ま^マる^ルハ早^{サウ}速^{ソク}や^ヤじ^ジべ^ベい。
右^ミれ^ミ一^{イチ}と^トく^ク年^{ネン}貢^{キョウ}を^ヲ十^{ジュウ}が^ガ一^{イチ}と^トり^リた^タぐ^グと^トり。
國^{クニ}市^シの^ノ証^{セイ}紙^シと^シり^リ事^{コト}好^{コト}義^ギを^ヲり^リと^トを^ヲ
三^{サン}と^ト次^ジを^ヲ各^{カク}別^{ベツ}。ま^マる^ル一^{イチ}と^ト義^ギ小^コの^ノ次^ジ
と^トり^リを^ヲま^マる^ルハ早^{サウ}速^{ソク}に^ニや^ヤじ^ジべ^ベい。行^{ヨウ}で^デ來^{ライ}年^{ネン}
を^ヲま^マる^ルハや^ヤめ^メん^ンや^ヤと^トれ^レフ^フ。

○公都子曰。外人皆稱夫子好辯。敢問

何也。孟子曰。予豈好辯哉。予不得已也。
天下之生久矣。一治一亂。

公都子云。孟子此亦子也。辯と辯論也。
辯古紙の^{コト}一^{イチ}と^ト是^ゼ好^{コト}を^ヲり^リた^タま^マる^ル義^ギ論^{ロン}
の^ノ事^{コト}なり。○公都子がいふは。ほのれ
ひと^{ヒト}と^トれ^レく^ク支^シ子^シ紙^シ辯^{ベン}論^{ロン}を^ヲま^マる^ルと^トり。
人^{ヒト}一^{イチ}と^トり^リや^ヤうに^ニま^マる^ルとい^イへ^ヘ。こ^コれ^レを^ヲ行^{ユク}
ひ^ヒが^ガく^クあ^アる^ルぞと^トなり。孟子曰。我^ガと^トに
ま^マる^ル一^{イチ}と^ト辯^{ベン}論^{ロン}を^ヲこ^コれ^レま^マる^ルや^ヤめ^メん^ンと^トし^シて^テを

得^エば^{コト}一^ニも^カあ^リね^ハなり^テ天下^{チカ}に^レ此^ノ民^ノ
 の^{ミヤク}し^{コト}ど^{コト}て^アる^{コト}事^ヲを^イふ^{コト}へ^ハい^ハり^{コト}れ^ル也^{コト}
 ひ^ト一^ニは^ハ同^ノの^{コト}なり^シ。それ^ノ内^ニ一^ニ度^ニも^カお^ハさ^ス
 ぬ^ル事^トあり^シ。海^ノこ^トも^カこ^トも^カこ^トも^カこ^トも^カこ^トも^カ
 あり^シ。お^ハさ^ス海^ノも^カこ^トも^カこ^トも^カこ^トも^カこ^トも^カ
 こ^トも^カこ^トも^カこ^トも^カこ^トも^カこ^トも^カこ^トも^カこ^トも^カ
 たり^シ時代^ニあり^シあり^シて^ハお^ハれ^ヲを^おさ^めんと
 たり^シふ^レれ^ハ豈^ニ辨^セら^レる^{コト}と^ハ成^得じ^ヤレ
 ば^エエ^マラ^シ也^{コト}なり^シ。

當^マ堯^ノ之^ノ時^ニ水^ニ逆^ニ行^シ。汎^シ於^テ中^ノ國^ニ。蛇^ノ龍^ノ居^ス
 之^ノ。民^ノ無^ク所^ニ定^ム。下^ノ者^ノ為^シ巢^ト。上^ノ者^ノ為^シ窟^ト。書^ス
 曰^ク。汾^ノ水^ニ警^ス。余^ノ汾^ノ水^ニ者^ハ漢^ノ水^也。

乃^チ下^ノ者^ノも^カや^ハり^シも^カなり^シ。汎^シ也^{コト}。水^ノの^ノお^ハび
 あり^シ。か^ハぐ^レれ^ハめ^グる^{コト}あり^シ。下^ノ者^ノを^カ
 地^ノに^テく^レり^シる^{コト}を^イふ^{コト}也^{コト}。巢^トと^ハな^ルれ^トす^{コト}
 窟^トを^イふ^{コト}也^{コト}。乃^チ巢^トの^ヤう^ノに
 あり^シ。上^ノ者^ノを^イふ^{コト}也^{コト}。地^ノに^テく^レり^シる^{コト}を^イふ^{コト}也^{コト}。

なり。管窟者。河乳をほらる事行る也。

降水者。雨露と云ふ也。○堯王の

時分りて。河より。水道がわく。河

水。水道。河。川。中。水。を

みらる。され。河。に。注。ぎ。る。

小蛇の龍れり。その。水。を

多。民。と。し。り。て。す。る。地。界

乃。其。の。地。を。築。作。り。地。を。平

な。れ。と。あ。れ。を。り。て。行。り。て。其。地

虞書堯典。天。を。比。た。り。記。水。を
と。く。て。い。は。し。め。たり。とい。へ。る。
云。々。あり。其。降。水。者。注。水。れ。と。云。り。
これ。一。記。なり。

使禹治之。禹掘地而注之海。驅蛇龍而
放之。菹水由地中行。江。淮。河。漢。是。也。險
阻既遠。鳥獸之害人者消。然後人得平
土而居之。

菹者。水。注。れ。る。所。也。

○堯上れゴウとくコトなる事コトをウもヒ舜シユンを
 阿アをクたスめシてシ記キ舜シユン禹ウをシてシ也。
 それ水ミヅ賦シたスめシてシなり。記キ小ウチ禹ウ地チを
 不フアスくク水道スイダウをコうウらヘ海ウミへシ引ヒ引キ
 物モノをシヤウしテ蛇ヘビ龍リウ乃ハ類ルイをシ行キひカり
 也。濕シツ地チのチ柔クナ乃ハ有トるト也トコロ也。それ
 記キすク地チれウへシをシもカつシ水ミツ地チの
 うラをシらカりシゆキ記キしテなり。それ水スイ
 道ダウ也。今イ乃ハ江カウ淮ワイ河カ漢カンとシふハ四シ川カ乃ハハ

なり。かくのコトとくコトとシてシババ險ケン阻ソをシてシに
 たり。鳥チヨウ獸シヤウなシてシ人ヒトをシてシ形カふシれル也
 なくナク華ナリをシひシもシ平ヘイ地チをシ得エるト也。住スニ居キ
 たりとシれテ險ケン阻ソをシてシ海ウミ子シをシやマれセん
 之シ記キをシいハぶトもシてシハハ水カウれル事コト也。消コトをシ
 乃ハ記キをシなくナク事コトなり。此コト一イツ治チ也。

堯ケウ舜シユン既シ没ボツ聖セイ人ニン之ノ道ミチ衰オホ暴バウ君クニ代カ作サツ壞クサ宮キウ
 室シツ以モ為ス汚キ池チ民ミン無ム所ス安ア息キツ棄テ田テン以モ為ス園エン
 囿ユウ使シ民ミン不フ得トク衣イ食シヤク邪セ說セツ暴バウ行コウ又マタ作サツ園エン囿ユウ

汚池ナチ沛澤ハイタクオホフメ多而禽獸キニシウイネオデ至及チツカ紂之身ミミ天下テカ
又大亂オホヒミミル

○堯舜ケウシウ之タミ治イユ民ミ之家居イユ乃ナ國クニ圓マ之チ花ハ木ボクを
うへに記キ禽獸キニシウをキかひなくママころりなり。
汗池カチをシいけなり。沛ハイをサ草木サウモク不フ乃ナ志シげつし
たりママころり。澤タクをシふれりりハまマりト取トりなり。
邪説ジャロウをシようシつツ悔クみクたタぐグしシりリなり。
説ロウなり。暴虐バウキヤクをシ暴虐バウキヤクなりヤ訥ヤウなり。
○堯舜ケウシウ之タミ治イユ民ミ之家居イユ乃ナ國クニ圓マ之チ花ハ木ボクを

人の民ジンタミ小コにシ物モノ作アヒをシるルの道不フもムらニ
暴虐バウキヤクのききき代ダイにシたりリ。らラ沛ハイひヒりリ
高タカ室シツをシこコくクしシ申マウをシりリ。民タミもモ
安ア樂ラクしシ休キウ息ソクをシるルもモ形カウにシ。百ハク姓セイの田
地チをシばバ。阿アらラしシもモ。推ユ山サン之チの周圓ユウエン
さサ形カウをシ民タミをシ田テン地チにシりリ。れレもモくク食イ食シヨウするル
もモあアらラしシもモ。暴虐バウキヤクれレまマしシりリもモあアらラしシもモ
月ツキ風フウ俗ソク日ニチくクりリおオもモらラふフもモあアらラしシもモ
あアらラしシるル説セツ解ゲなりリ。まマらラしシるルおオこコ

りひむをりし。此れ害小なる事ならず。
一。右の事あり。困固汗池沛澤が形なき。
二。禽獸をかくしりし事。百姓業
三。地もろくも好くどしれりきんく
四。くわりし。討がせり。年あを。天下
五。ゆるむひりし。これなり。これなり。
一。乱れり。

周公相武王。誅紂伐奄。三年討其君。驅
飛廉於海隅。而戮之。滅國者五十。驅虎

豹。屏象而遠之。天下大悦。書曰。丕顯哉
文王謨。丕承哉。武王烈。佑啓我后人。咸
以正無缺。

奄を東方に國あり。飛廉を討てたし。
むを。暴虐を斬る。氣に入らる。臣下也。
海隅を海乃る。書を周書君
牙に篇あり。○上れ。不記り。
周公輔佐の臣を斬り。
武王をたしむ。暴虐を誅し。

天^ニイ^カス^ル事^ニ申^セ征^セ伐^スを^シむ^ル事^ヲ討^テむ^ル事^ヲ
 う^ラ不^レあ^レば^シ。奄^ニ此^ノ國^ニ乃^チ君^ノ不^レカ^シイ^フ
 ぬ^ク討^テむ^ル事^ヲた^シむ^ル事^ヲ。惡^ク事^ヲ成^スむ^ル事^ヲ成^スむ^ル事^ヲ
 を^シ。三^ニ年^ニカ^シつ^テさ^シう^ラ不^レあ^レば^シ。三^ニ年^ニ
 飛^ニ廉^ニを^シば^シ海^ニれ^ニさ^シん^ス事^ヲ。む^ル事^ヲ討^テむ^ル事^ヲ
 誅^ニ戮^ニ。そ^レ不^レの^ニ討^テむ^ル事^ヲ。う^ラ不^レあ^レば^シ。國^ニ
 子^ノ十^ノを^シ不^レあ^レば^シ。國^ニ圍^レれ^ル内^ニ不^レヤ^シ。む^ル事^ヲ
 不^レけ^ル。虎^ノ豹^ノ犀^ノ象^ノを^シ。む^ル事^ヲ討^テむ^ル事^ヲ
 を^シ。た^シむ^ル事^ヲ。天^ニ下^ニれ^ル民^ノを^シ。む^ル事^ヲ

榮^ニ。一^ニて^シ。む^ル事^ヲ討^テむ^ル事^ヲ。う^ラ不^レあ^レば^シ。國^ニ
 と^レれ^ル事^ヲ。そ^レ不^レの^ニ討^テむ^ル事^ヲ。う^ラ不^レあ^レば^シ。國^ニ
 不^レけ^ル。虎^ノ豹^ノ犀^ノ象^ノを^シ。む^ル事^ヲ討^テむ^ル事^ヲ
 を^シ。た^シむ^ル事^ヲ。天^ニ下^ニれ^ル民^ノを^シ。む^ル事^ヲ
 父^ノの^ニう^ラ不^レあ^レば^シ。を^シ。む^ル事^ヲ討^テむ^ル事^ヲ
 武^ノ王^ノの^ニ不^レあ^レば^シ。む^ル事^ヲ討^テむ^ル事^ヲ
 う^ラ不^レあ^レば^シ。を^シ。む^ル事^ヲ討^テむ^ル事^ヲ
 う^ラ不^レあ^レば^シ。を^シ。む^ル事^ヲ討^テむ^ル事^ヲ
 う^ラ不^レあ^レば^シ。を^シ。む^ル事^ヲ討^テむ^ル事^ヲ
 う^ラ不^レあ^レば^シ。を^シ。む^ル事^ヲ討^テむ^ル事^ヲ

たゞもきくしつしめくたつたひて
何んかゝるしめく事とせしめ
きくしつしめく事とせしめ
やめきたるしめく事とせしめ
世の一治なり。

世衰道微邪説暴行有作臣弑其君者
有之。子弑其父者有之。
文武周公を以てひさる事とせしめくしめ。
世とせしめくしめく事とせしめくしめ。

孔子懼作春秋。春秋天子之事也。是故
孔子曰。知我者其惟春秋乎。罪我者其
惟春秋乎。

孔子この所分りしはあれあひなきこと
魯國の史官れう記おきる日記を取
りてこれをまじりて春秋とす
書作す後世乃行へし
春秋も孔子れも成りぬまじりて
の道のたふらんともはれり
魯國の史官れう記おきる日記を取
りてこれをまじりて春秋とす
書作す後世乃行へし
春秋も孔子れも成りぬまじりて

日記なりしが孔子のも成りて
ためたふしむるなりし
おもしろく天子もてをぬき
なりといふとされば天子の
もろと天子のこともあり
罰し善人をすめり
魯國の史官れう記おきる日記を取
りてこれをまじりて春秋とす
書作す後世乃行へし
春秋も孔子れも成りぬまじりて

中国のこもくこもくたさぬこれそのまはれ
 善悪のこもれ是れはこもりこもりのま
 たり代りこもりありこもりありこもりあり
 天子のこもれおひりこもり法おひりて賞罰
 をおひりおひりたさふありこもりありこれ
 天子のこもれこもりこもりありこもりあり
 孔子自若しものこもりこもりありこもりあり
 かしらものまこの春秋のまじ一字
 あり人をかやりまこもりありこもりあり

王法れおこれおれぬを春秋れうらまき
 業をかこもりおこもりこもりありこもりあり
 此れこもりせりおこもりこもりありこもりあり
 それ功莫大なりとこもりこもりありこもりあり
 子のこもれおれぬを春秋れ孔子を天
 子よりこもりなりこもりありこもりあり
 天子乃こもりこもり人をこもりこもりあり
 天子乃こもりこもり人をこもりこもりあり
 天子乃こもりこもり人をこもりこもりあり
 天子乃こもりこもり人をこもりこもりあり

なり。二は春秋小よりく。若人を若とせし
ふ。一は紀事賦よりく。海と也。悪人ハ
悪を以り。一は所きを志りく。一は所
二は世に。これ孔子の春秋を作したる
一は世に。これ功謙小大の事也。

聖王不作。諸侯放恣。處士橫議。揚朱墨
翟之言。盈天下。天下之言不歸楊。則歸
墨。楊氏為我。是無君也。墨氏兼愛。是無
父也。無父無君。是禽獸也。公明儀曰。庖

有肥肉。廐有肥馬。民有飢色。野有餓莩。
此率獸而食人也。揚墨之道。不息。孔子
之道。不若。是邪說誣民。充塞仁義也。仁
義充塞。則率獸食人。人將相食。
海に氣をいなるを云。若しをい
を云。世に。これ海人也。横議を
正理より。海より。此に議論するを
り。一は上より。一は治一乱とせし。今れ世

小年^{ナリ}も^シ竟^{ゲウ}舜^{シユン}文武^{ブンブ}の^{コト}記^キ聖^{セイ}子^コ也^{ナリ}

お^ハつ^ツ次^ジ諸^{シヨ}侯^{コウ}乃^ハた^ダご^ハひ^ヒを^シわ^ケぬ^ニなり^{ナリ}

法^{ホウ}度^トを^シゆ^ウと^シ次^ジ士^シを^シわ^ケぬ^ニ乃^ハ学^{ガク}

向^{モウ}を^シた^テて^テ正^{セイ}理^リを^シゆ^ウと^シ次^ジを^シわ^ケぬ^ニ乃^ハ説^{セツ}

を^シ横^{コウ}議^ギと^シそれ^レを^シ楊^{ヤウ}朱^{シユ}と^シ墨^{ボク}翟^{テキ}と^シ其^レ説^{セツ}

を^シや^ウつ^ツと^シゆ^ウと^シ記^キ揚^{ヤウ}墨^{ボク}の^レ説^{セツ}を^シゆ^ウと^シ次^ジと^シ

り^シも^シ形^{ケイ}を^シゆ^ウと^シイ^イり^リと^シゆ^ウと^シ天^{テン}下^カ此^{コノ}学^{ガク}を^シ

論^{ロン}じ^ジの^レ言^{ゴン}揚^{ヤウ}子^シが^カ方^{カウ}へ^シお^ハし^シり^リ

補^ボは^ハ墨^{ボク}子^シに^シお^ハし^シじ^ジく^クや^ウに^シ年^{ネン}たり^リ揚^{ヤウ}子^シが

学^{ガク}を^シわ^ケぬ^ニ乃^ハむ^ムと^シり^リの^レお^ハし^シ形^{ケイ}ひ^ヒの^レた^タめ^メに^シ

あ^アる^ルが^ガの^レお^ハし^シ形^{ケイ}ひ^ヒに^シも^モ一^{イツ}切^{キョウ}の^レ事^ジなり^リと^シゆ^ウ

小^コし^シの^レ言^{ゴン}を^シゆ^ウと^シ次^ジを^シわ^ケぬ^ニ乃^ハ天^{テン}下^カの^レ

た^タめ^メに^シあ^アる^ルと^シゆ^ウと^シぬ^ヌと^シゆ^ウと^シ乃^ハこ^コの^レた^タめ^メに^シ

お^ハる^ル天^{テン}下^カの^レ人^{ニン}の^レ言^{ゴン}を^シゆ^ウと^シ次^ジを^シわ^ケぬ^ニ乃^ハ天^{テン}下^カの^レ

事^ジの^レた^タめ^メに^シあ^アる^ルと^シゆ^ウと^シ乃^ハ命^{メイ}を^シま^マす^スに^シゆ^ウ

こ^コの^レ言^{ゴン}を^シゆ^ウと^シ次^ジを^シわ^ケぬ^ニ乃^ハあ^アる^ルと^シゆ^ウと^シ乃^ハこ^コの^レ

事^ジの^レた^タめ^メに^シあ^アる^ルと^シゆ^ウと^シ乃^ハこ^コの^レ言^{ゴン}を^シゆ^ウと^シ次^ジを^シわ^ケぬ^ニ乃^ハ

事^ジの^レた^タめ^メに^シあ^アる^ルと^シゆ^ウと^シ乃^ハこ^コの^レ言^{ゴン}を^シゆ^ウと^シ次^ジを^シわ^ケぬ^ニ乃^ハ

事^ジの^レた^タめ^メに^シあ^アる^ルと^シゆ^ウと^シ乃^ハこ^コの^レ言^{ゴン}を^シゆ^ウと^シ次^ジを^シわ^ケぬ^ニ乃^ハ

道ミチノ子始カフニヤシクシトクハフヒトクキトクキトクキ
 父コノノキニシテキニシラキニシラキニシラキニシラキ
 禽キニ獸シラノキトクハフヒトクキトクキトクキ
 其キノキニシテキニシラキニシラキニシラキニシラキ
 人ヒトヲシテキニシラキニシラキニシラキニシラキ
 後ノチヲシテキニシラキニシラキニシラキニシラキ
 乱ミダレシトクハフヒトクキトクキトクキ
 又マタ一ヒトノキトクハフヒトクキトクキトクキ
 此コノトクハフヒトクキトクキトクキトクキ

吾レ為レ此コノ懼コシ閑ム先マシ聖セイ之ノ道ミチ距キ揚ウチ墨ビ放ナシ淫ニシ辭ジ

邪ヤ說セツ者モノ不ズ得エ作ス於レ其コノ心ココロ害ガイ於レ其コノ事コト作ス
 於レ其コノ事コト害ガイ於レ其コノ政セミ聖セイ人ヒト復フタ起ト不ズ易カ吾レ言ハハ
 矣ナリ

爾ニ之ヲ始カフニヤシクシトクハフヒトクキトクキトクキ
 淫ニシ辭ジ者モノ始カフニヤシクシトクハフヒトクキトクキトクキ
 乃シ之ヲ始カフニヤシクシトクハフヒトクキトクキトクキ
 不ズ得エ作ス於レ其コノ心ココロ害ガイ於レ其コノ事コト作ス
 於レ其コノ事コト害ガイ於レ其コノ政セミ聖セイ人ヒト復フタ起ト不ズ易カ吾レ言ハハ
 矣ナリ

のためイ^{カイ}害せしむれぬやうに揚^{ヤウ}揚^{ボク}が学^{ガク}
 問^{モン}はぬせにたらぬ^{キニ}深^シ深^シ辯^{ベン}をせられち。
 と^カ誠^{マコト}づくらやうにして天^{テン}下^カのひとに揚^{ヤウ}揚^{ボク}が
 説^{セツ}乃^ニ好^{コト}なりと^カ誠^{マコト}を^シしめ^セ邪^{ジャ}説^{セツ}乃^ニ好^{コト}
 にお^カこれ^{コト}も^シれ^セぬ^シや^シう^シに^カ次^ジ邪^{ジャ}説^{セツ}れ^セお
 こ^コ事^{コト}。それ^{コト}も^シめ^セる^シれ^セる^シに^カ漚^ウう^シて。
 それ^カ害^{カイ}の^カある^シこ^シも^シき^シし^シり^シに^カ大^{ダイ}也^ヤと^シめ^セ
 乃^ニ邪^{ジャ}説^{セツ}こ^コる^シに^カお^カり^シを^シし^シと
 され^バの^カお^カり^シに^カお^カら^シぬ^シと^シい^ハ

害^{カイ}有り^シ也^ヤ。の^カお^カり^シに^カお^カら^シぬ^シと^シい^ハ
 る^シも^シの^カお^カり^シに^カお^カら^シぬ^シと^シい^ハ
 う^カ一^{イチ}害^{カイ}あり^シ也^ヤ。の^カお^カり^シに^カお^カら^シぬ^シと^シい^ハ
 也^ヤ。お^カり^シに^カお^カら^シぬ^シと^シい^ハに^カ義^ギ充^{ジュウ}塞^{ソウ}と^シい^ハ
 也^ヤ。人^{ヒト}あり^シも^シの^カお^カり^シに^カお^カら^シぬ^シと^シい^ハ
 父^フを^シし^シる^シに^カお^カら^シぬ^シと^シい^ハと^シい^ハ
 子^シれ^シの^カ義^ギも^シの^カお^カり^シに^カお^カら^シぬ^シと^シい^ハ
 今日^{コンニチ}聖^{セイ}人^{ジン}お^カり^シに^カお^カら^シぬ^シと^シい^ハ
 也^ヤ。

志にあり。

昔者禹抑洪水而天下平。周公兼夷狄。驅猛獸。而百姓寧。孔子成春秋。而亂臣賊子懼。詩云。戎狄是膺。荆舒是懲。則莫我敢承。無父無君。是周公所膺也。

抑々ヨクとカミめやしむなり。○上小いへる通也。
しうカミ禹ス洪水をカミおさへトホこゝろのカミ民の
災をカミとくしむ。天下カミ一カミなりカミなり。
周カミ公カミ討カミ王カミのカミ末カミ一カミなりカミ。夫カミ狄カミをカミとくしむ。

と川小のいへせ。極カミ歎カミとカミ行カミなりカミ。かカミりのカミぞ
とく。天下カミのカミ百姓カミ業カミ法カミをカミしカミ也。周カミのカミ末カミ一カミなりカミ。
孔子カミ春秋カミを作カミりカミたりカミしてカミこの
春秋カミをカミしカミるカミ。乱カミ臣カミ父カミ所カミ殺カミしカミるカミ賊カミ子カミをカミしカミるカミ。
類カミ。之カミれカミくカミ。行カミなりカミ。悪カミをカミとくしむカミ。とカミれカミるカミ。
か。天下カミのカミをカミしカミるカミ。とカミれカミるカミ。とカミれカミるカミ。とカミれカミるカミ。
魯カミ頌カミのカミ篇カミ一カミいカミへカミるカミ。夫カミ狄カミのカミ類カミをカミしカミるカミ。

荊師を征伐して。うらみか。バ。ワ。イ。
敵對をもくもくといへ。王。夷狄を君。
か。父をとな。人倫の道。
これゆ。楊。道。夷狄
父をふ。夷狄と。
も。あ。れ。ば。世をす。
婦。い。ん。あ。の。置。ま。ふ。や。じ。へ。き。ん。や。
我亦欲正人心。息邪說。距詖行。放淫辭。
我。亦。欲。正。人。心。息。邪。說。距。詖。行。放。淫。辭。

以承三聖者。豈好辯哉。予不得已也。
以。承。三。聖。者。豈。好。辯。哉。予。不。得。已。也。

彼亦一偏。一偏。一偏。ひ。づ。さ。た。り。む。
ひ。ひ。なり。○。孟子曰。好。仁。義。の
道。を。あ。ま。り。か。り。邪。說。を。お。し。り。た。り。
ひ。と。れ。ん。を。な。ぐ。り。ま。り。海。を。説。や。め。
む。ぐ。ら。ん。行。を。め。せ。ば。い。ま。め。と。り。お。め。の
を。記。辯。を。ば。し。れ。ら。を。さ。け。く。上。れ。
三。聖。人。の。功。い。は。ぬ。く。礼。世。を。お。し。る。が。
こ。ち。道。を。か。ん。と。お。し。る。は。お。し。る。は。

あつは人とは好を辨じ。論議するは也。
何に辨を以て此のむと成らんや。
實小現イおひて。やれぬゆへぞなり。
能言距揚墨者聖人之徒也。

二子れ説をゆせぐこれあまはそれなり。
いふとふたづゝく義理のりしれり。
こころを忘れふれなり。聖人れらなり。
あつはとも。これゆへ聖人れ類なり。

かきこみあがくいへるも。畧略れ害のりれ。
○匡章曰。陳仲子豈不誠廉士哉。居於
陵三日不食耳。無聞目無見也。井上有
糟。食實者過半矣。匍匐往將食之。三
咽。然後耳有聞。目有見。

匡章陳仲子も。こころに意の固乃人なり。
糟を矯糟もくもしなり。その根又も
果ふとくふじし也。廉をむさばらば身

をいさげにうくしををり。於陵と云われ
名なり。○匡章が曰。吾子の周乃陳仲
子也。海に廉潔なる士なるは。次やいかにと
なれば。仲子も富貴れ家よりし。されど
其れをうらみ。於陵よりおりし。が
こづりにひとにじさかりと。のふと。其
せは。ゆい。おきこもあま。ま。し。く
あま。く。食物を。あ。く。して。三日。が。同
なれ。を。く。く。次。精。力。を。お。と。ら。へ。し。や。

耳をこころえん。目を見ふ。一也。あま。し。り。に
井のふより。ふ。ま。ま。や。れ。なり。たる。が。あり。
あ。れ。ご。糟。が。は。は。く。その。實。を。半。分。が
は。ら。つ。つ。陳。仲。子。其。れ。錢。も。り。く。食
む。んと。す。り。り。が。も。ち。く。な。く。や。う。く。し。り
そ。ひ。あり。き。く。其。れ。實。を。と。り。く。進。に。食
む。の。こ。も。な。り。三。夜。の。こ。も。や。う。く
精。力。す。り。は。は。く。耳。を。こ。ころ。え。ん。目。を
見。え。し。也。其。れ。ひと。も。な。り。か。く。の。お。と。

滅シラトイ廉潔レシケツなるをレれトなり。

孟子シノイハク曰セテ於齊國之士ニ吾必以仲子ヲ為巨キヨ擘焉ト。雖然仲子ニ惡能廉ニ。充仲子之操ヲ則シテ蚓ニ而後可ク者也ト。

書ク分ク。大キいびニなり。充トはレ通ストホ。

こノこノまニぐシ。志ハいハめニあリゆクをリ不レ操ト。

かクこノもリ悔ミなりクわレを云刺ハ蛇刺。

みハ次ニなり。○孟子ニ曰ク。商ノ國乃士レれラらニまニくニ。ワレをレけレめニくニ仲子トはレ。

とレがレれラらニのト守ト。商ノ國レ士レがレくハ。
富貴トはレ不レまニ。利欲ヲをレしテがレる中。
仲子トもレりともレなくニ。貧窮ヲをレ苦シ。
不レ守ト。利欲ヲをレしテはレぶレばレたトもレんバ。
不レまニ。指ト乃レらニまニくニ。とレがレれラらニ大キ指ト。
のトもレくニ不レまニなりト。志ハいハめニあリゆクをリ不レ操ト。
廉ニするニんヤ。廉ニをレしテはレ通ストホ。
とレもレり。こノもレりともレなくニ。仲子トはレ。
仲子トがレもレりともレなくニ。

ずいごに申。おん形ひびくつたことあり。仲子
チウシ
 たり。海をる所のこもく志ひめし海りバ
トコロ
 たり。これ世間一ねもちるるべし。
セケン
 蛭刺一りりきくくバよのふべし。
キウキ
シ 夫。上食槁壤。下飲黄泉。仲子所居之
シ 室。伯夷之所築。與抑亦盜跖之所築。與
トコノクニ 所食之粟。伯夷之所樹。與抑亦盜跖之
トコノクニ 所樹。與是殊可知也。
トコノクニ 槁壤も。いんささたる海りり。黄泉ハ。
カワシマウ

ようめい。いろの黄なる水なり。伯夷ハ。す
キ 小。んえたり。い。い。への聖人の。至極潔白
ミヅ たり。ひも。り。盗跖も。ぬ。び。と。り。○蛭
モト 刺も。上。も。やう。く。か。る。た。る。古。を。こ。ろ。て
ツキ 食物も。下。も。海。こ。小。り。たる。黄泉を
シモ 乃。も。め。り。何。の。も。と。あ。え。な。記。不。と。に
ナニ くれ。り。バ。か。く。海。り。と。く。と。世。間。小。り
セケン たり。仲子。が。こ。も。く。は。な。り。に
チウシ こと。も。ハ。仲子。が。い。り。る。室。を。伯夷。が
チウシ

さくらへたりり。悔くも盜跖がさくらきたる
や。くも婦そこら乃あり。伯夷がさくらき
〜そこらく。左をさくも盜跖がうけ
た。さく。義をれば。伯夷がさくらそこら
前をあり。不義をれば。盜跖がさくら
おれぐ。それいげさなを騙さく。仲
子も居まなく。さくら。食物もさく
さくらもさく。さくら。食物もさく。伯夷と食物と
これ伯夷がさくら。さくら。食物もさく。

されば。これ世間。ははらさく。たが
小。さくら。さくら。さくら。さくら。さくら。
曰。は何傷哉。彼身織履妻辟纒。以易之也。

辟纒を。麻をうむ。○匡章が曰。
仲子が。さくら。さくら。食物もさく。伯夷がさくら
〜そこらく。左をさくも盜跖がうけ
た。さくら。義をれば。伯夷がさくらそこら
前をあり。不義をれば。盜跖がさくら
おれぐ。それいげさなを騙さく。仲
子も居まなく。さくら。食物もさく
さくらもさく。さくら。食物もさく。伯夷と食物と
これ伯夷がさくら。さくら。食物もさく。

得たる。居ると食むれば。ワが身より
いづれ。いづれ。人より。いづれ。いづれ。得
たり。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。也。

曰。仲子。齊之世家也。兄戴。蓋祿萬鍾。以
兄之祿。為不義之祿。而不食也。以兄之
室。為不義之室。而不居也。辟兄。離母處
於於陵。他日。歸則有饋。其兄生。鸞。者。已
頻顛。曰。惡用是。覲。覲者。為我。他日。其母
殺是鸞也。與之食之。其兄自外至。曰。是

覲。覲之肉也。出而哇之。

世家也。仲子。齊の卿也。戴なり。戴ハ名也。
蓋と云。この人の名なり。覲と云。俗小。唐。唐
と云。これなり。頻顛と云。ひらひら。小。志。ハを
よせ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。覲。乃
鳴。夢。なり。○。子。子。子。曰。これ。仲子。也。
いづれ。貧窮。なり。いづれ。小。何。いづれ。齊の代。こ
の卿。乃。戴。いづれ。いづれ。兄。也。戴。と。いづれ。也。
蓋。と。云。いづれ。を。知。り。て。いづれ。祿。と。云。

鍾なり。さうら小兄の禄をいひあふ不義
なりとて食世次兄の家をいひあふ
不義なりとておれは兄をいひあふ
まをいひあふ書にに於て
なり。ある日兄の家にいふに
それ兄にいふに
これを今日人にいふに
まをいひあふ書にに於て
まをいひあふ書にに於て

せうして是をいひあふに
いひあふに
いひあふに
いひあふに
いひあふに
いひあふに
いひあふに
いひあふに
いひあふに
いひあふに

これよく。さうや。あふれ。天端を。さ。さ。さ。
 だ。おの。ま。か。身。を。い。さ。だ。う。く。さ。は。さ。
 下。り。な。り。

以母則不食。以妻則食之。以兄之室則
 弗居。以於陵則居之。是尚為能充其類
 也。乎。若仲子。而後。充其操者也。

人の世間。小。げ。ぢ。ぢ。の。食。物。と。居。不。と。さ。く
 志。く。さ。た。い。へ。ま。ん。や。さ。く。乃。あ。る。屋。一
 食。見。乃。居。不。と。さ。く。天。性。あ。ひ。う。れ。さ。は。る。

親。き。一。門。乃。不。食。を。さ。ば。この。食。物。を。食。い。

これ。室。一。り。お。の。と。さ。く。不。義。ま。く。は。な。れ
 ぢ。り。さ。く。乃。仲。子。さ。く。れ。食。は。不。義。の

食。と。さ。く。食。せ。次。妻。乃。辟。疆。一。く。得。
 たる。食。を。ば。食。せ。兄。の。室。を。ば。不。義。の。室。

う。して。お。ら。ぢ。して。於。陵。の。居。不。と。さ。く。乃。お。の
 乃。身。に。さ。く。さ。い。く。さ。く。乃。一。く。に。や。母。兄。の

居。不。と。さ。く。食。物。を。不。義。と。せ。ば。い。い。や。く。さ。く。も
 お。ら。次。食。せ。ぢ。して。さ。く。乃。其。類。を。さ。く。ら。で。

海と此とありな色。されればよくそれ
類を充とせんや。色をゆくは海か
言。ならば。一。空なる不。に。仲子。が。やう
なり。それ。と。刺。して。やう。く。それ。操。を。充
海。に。それ。なり。

孟子鈔卷之六終

孟子

卷之九

